

# Access Control System Net2 Version4



Paxton Access

## Net2 ユーザーマニュアル --- スタンダード ---

◆お問合せは下記販売代理店まで...

## 1. はじめに

この度は『Net2 Access Contorol』入退室管理システムをご導入頂きまして、誠にありがとうございます。

『Net2 Access Contorol』はセキュリティ先進国である英国 Paxton 社で開発された、パソコン管理による入退室管理システムです。

## 2. このマニュアルについて

本ユーザーマニュアルは各コントロールユニット・カードリーダー・電気錠等のシステム機器の設置・接続及び運用ソフトのインストールが完了したあと、パソコン上の各種設定作業及びその運用方法について解説したものです。ご使用方法を誤ると入退室管理システムの誤作動・入退室履歴情報の消失などを引き起こす恐れがあります。管理・運用にあたっては、必ず本ユーザーマニュアルをよくお読みの上、正しくお使い下さい。

本マニュアルに記載の各機種は仕様及び外観等を予告なく変更することがありますのでご了承下さい。仕様の数値は動作環境により多少誤差が生じる場合があります。マニュアルと実際の色とは、印刷の関係で多少異なる場合があります。掲載商品の取付には、配線 / 電源工事や建物への固定等の施工が必要になります。Microsoft、Windows 2000/XP/2003/Vista は米国 Microsoft 社の商標または登録商標です。Intel、Pentium は米国 Intel Corporation の登録商標または商標です。なお、本文中では TM マークなどは明記していません。その他、本カタログに記載されている、会社名 / 製品名 / サービス名は各社が登録商標または商標として使用している場合があります。各発売元または開発メーカーの承諾なく使用することを禁じます。

本マニュアルに記載される内容は、あくまでも参照用としてのみ使用されること、また、なんら予告なしに変更されることを条件として提供されるものであり、従って当該情報が英国 Paxton Access 社、デンマーク Milestone Systems 社、株式会社ケーティーワークショップの責務として解釈されることがあってはなりません。英国 Paxton Access 社、デンマーク Milestone Systems 社、株式会社ケーティーワークショップは、本マニュアルにおけるいかなる誤謬または不正確な記述に対しても、なんら責任または補償を負いません。本マニュアルを用いた運用は、必ずお客様自身の責任と判断によって行って下さい。本書記載の情報は、2007 年 8 月 1 日時点のものを掲載しておりますので、ご利用時には変更されている場合もございます。また、ソフトウェアに関する記述は、特に断りのない限り 2007 年 8 月 1 日現在での最新バージョンを元にしてあります。ソフトウェアはバージョンアップされる場合があります。本マニュアルでの説明とは異なってしまうこともあります。ご了承下さい。

本マニュアルに記載される製品は事故・盗難等の万一の事柄を完全に防止するものではありません。万一お客様に事故・盗難等が発生した場合、当社は一切の責任を負いません。保証は当社が販売した製品で製造時の不具合に起因すると思われる機能的な不具合を対象とします。システムが適切な指導の下で設置され、適切な状況の下で運用されている場合、保証の対象になります。ただしそれは特定の製品の使用回数に関する制限を受けます。当社は製品の不具合から生じるいかなる損失にも責任を負いません。当社はお客様が機器の購入時に支払った対価以上の責務を負いませんし、法的責務を除外するものでもありません。

## 目次

1. はじめに	2
2. 本マニュアルについて	2
3. アプリケーションソフトの起動	4
4. イベント (履歴) 情報をみる	5
4-1. イベント (履歴) 情報について	5
4-2. イベント (履歴) 情報の見方	6
5. ユーザーの設定・登録	7
5-1. ユーザー画面	7
5-2. ユーザーの登録	8
5-3. ユーザーの検索	8
5-4. ユーザーカードの削除方法	9
5-5. ユーザーカードの紛失カード処理	9
5-6. 紛失したユーザーカードの再発行	9
6. コントローラの設定・登録	10
7. タイムゾーンの設定・登録	13
8. アクセスレベルの設定・登録	14
8-1. アクセスレベルについて	14
8-2. アクセスレベルの新規登録方法	15
8-3. アクセスレベルの設定方法	15
9. テンキーの設定方法	16
9-1. 共有番号の設定	16
9-2. ID 番号の設定	16
10. オペレーターの登録	17
12. レポートの作成	18
13. カメラの設定方法	19
14. グラフィック表示の設定	20
13. 侵入アラームの設定	21
15.4. Milestone XProtect ソフトとの連動	23
16. オプションの設定	25
17. データのインポート・エクスポート	26
17-1. インポート	26
17-2. エクスポート	26
17-3. イベント (履歴) の取り出し	29
18. バックアップ	30
19. クライアントパソコンからの管理	30
プロフェッショナル版の機能について	31
Net2 テクニカルデータ	32
参考資料	33

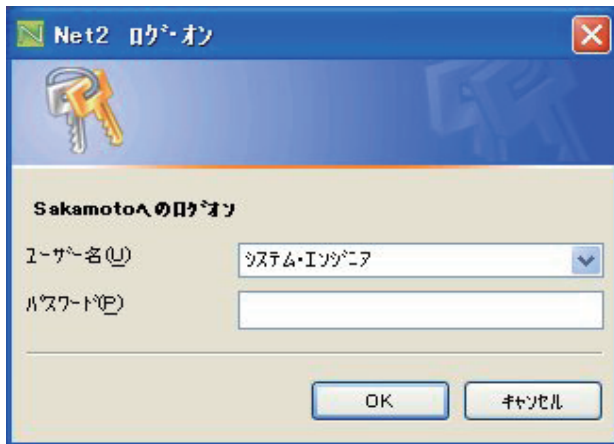
### 3. アプリケーションソフトの起動

入退室管理システム『Net2』のアプリケーションソフトウェアを起動します。

デスクトップ上に表示されているアイコンをダブルクリックするか、『Windowsのスタートメニュー』 - 『すべてのプログラム』 - 『Net2 Access Control』 - 『Net2 Access Control』（Windows XPの場合）からプログラムを起動して下さい。

左図のようなログオン画面が表示されますので、パスワード“net2”を入力して下さい。

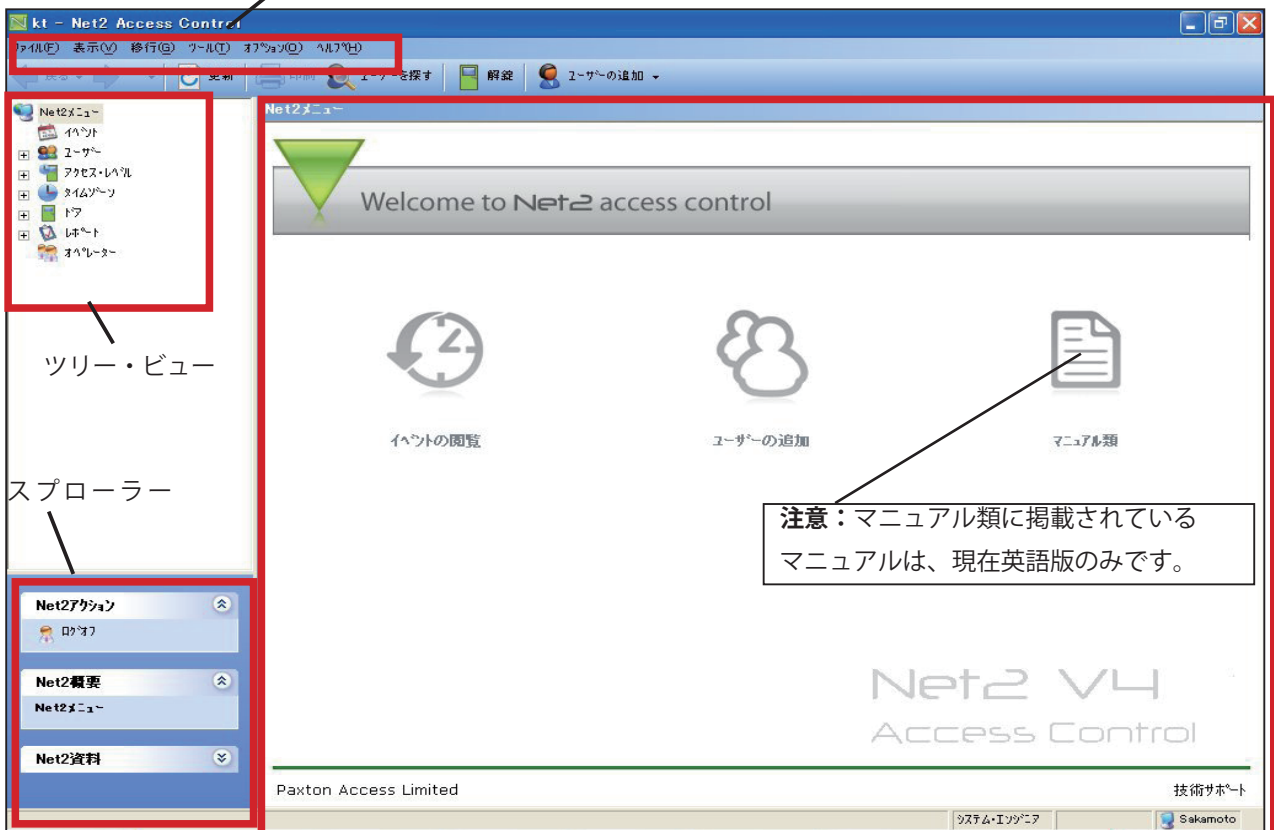
また、パスワードの変更・新規登録は後述『オペレーターの登録』をご参照して下さい。



ログオンすると、下図のような画面が表示されます。初期設定では、画面はツリー・ビューとメインウィンドウで構成されています。

メニューバーの『表示』から画面表示の設定を変更することが出来ます。

メインウィンドウ      メニュー



エクスプローラー

ツリー・ビュー

注意：マニュアル類に掲載されている  
マニュアルは、現在英語版のみです。

## 4. イベント（履歴）情報をみる

### 4-1. イベント（履歴）情報について

ユーザーのアクセス（入退室）状況や設定変更等、システムに関する情報がイベント（履歴）として表示されます。メニュー・バーのツリー・ビューの『イベント』、『移行-イベント』、メインウィンドウの『イベントの閲覧』のいずれかからイベント画面を表示します。

イベント画面では「いつ」「誰が」「どこで」入退室を行ったのが時系列に表示されます。この画面上で表示されるイベント件数は直近の1万件までです。1万件以上のイベントの確認は『レポート』機能（P18 参照）を使用して下さい。

日時	ユーザー	場所	イベント	詳細
2007/04/17 16:52:03	山本, 花子	ACU 00275245 (In)	アクセス許可されました:入力されたID...	入退室なし。
2007/04/17 16:52:01	小林, 美	ACU 00275245 (In)	アクセス許可されました:入力されたID...	入退室なし。
2007/04/17 16:52:00	山本, 太郎	ACU 00275245 (In)	アクセス許可されました:入力されたID...	入退室なし。
2007/04/17 16:51:56	システム・ソフトウェア		ACUの設定が変更されました。	設定が変更されました: ACU 00275245
2007/04/17 16:51:37	山本, 太郎	ACU 00275245 (Out)	アクセス許可されました:入力されたID...	入退室なし。
2007/04/17 16:51:36	山本, 太郎	ACU 00275245 (Out)	アクセス許可されました:入力されたID...	入退室なし。
2007/04/17 16:51:28	山本, 太郎	ACU 00275245 (Out)	アクセス許可されました:入力されたID...	入退室なし。
2007/04/17 16:51:22	佐藤, 今日子	ACU 00275245 (Out)	アクセス許可されました:入力されたID...	入退室なし。
2007/04/17 16:51:20	森野, 美里	ACU 00275245 (Out)	アクセス許可されました:入力されたID...	入退室なし。
2007/04/17 16:51:17	山本, 花子	ACU 00275245 (Out)	アクセス許可されました:入力されたID...	入退室なし。
2007/04/17 16:51:14	山本, 花子	ACU 00275245 (Out)	アクセス許可されました:入力されたID...	入退室なし。
2007/04/17 16:51:12	鈴木, 信吾	ACU 00275245 (In)	アクセス許可されました:入力されたID...	入退室なし。
2007/04/17 16:51:10	森野, 美里	ACU 00275245 (In)	アクセス許可されました:入力されたID...	入退室なし。
2007/04/17 16:51:08	森野, 美里	ACU 00275245 (In)	アクセス許可されました:入力されたID...	入退室なし。
2007/04/17 16:51:07	森野, 美里	ACU 00275245 (In)	アクセス許可されました:入力されたID...	入退室なし。
2007/04/17 16:51:06	佐藤, 今日子	ACU 00275245 (In)	アクセス許可されました:入力されたID...	入退室なし。
2007/04/17 16:51:05	小林, 美	ACU 00275245 (In)	アクセス許可されました:入力されたID...	入退室なし。
2007/04/17 16:51:04	山本, 花子	ACU 00275245 (In)	アクセス許可されました:入力されたID...	入退室なし。
2007/04/17 16:51:01	山本, 花子	ACU 00275245 (Out)	アクセス許可されました:入力されたID...	入退室なし。
2007/04/17 16:51:00	森野, 美里	ACU 00275245 (Out)	アクセス許可されました:入力されたID...	入退室なし。
2007/04/17 16:50:58	山本, 花子	ACU 00275245 (Out)	アクセス許可されました:入力されたID...	入退室なし。
2007/04/17 16:50:56	山本, 花子	ACU 00275245 (Out)	アクセス許可されました:入力されたID...	入退室なし。
2007/04/17 16:50:55	小林, 美	ACU 00275245 (Out)	アクセス許可されました:入力されたID...	入退室なし。
2007/04/17 16:50:53	佐藤, 今日子	ACU 00275245 (Out)	アクセス許可されました:入力されたID...	入退室なし。
2007/04/17 16:50:51	森野, 美里	ACU 00275245 (Out)	アクセス許可されました:入力されたID...	入退室なし。
2007/04/17 16:50:49	鈴木, 信吾	ACU 00275245 (Out)	アクセス許可されました:入力されたID...	入退室なし。
2007/04/17 16:50:47	佐藤, 今日子	ACU 00275245 (Out)	アクセス許可されました:入力されたID...	入退室なし。
2007/04/17 16:50:45	小林, 美	ACU 00275245 (Out)	アクセス許可されました:入力されたID...	入退室なし。
2007/04/17 16:50:43	山本, 花子	ACU 00275245 (Out)	アクセス許可されました:入力されたID...	入退室なし。
2007/04/17 16:50:41	佐藤, 今日子	ACU 00275245 (In)	アクセス許可されました:入力されたID...	入退室なし。
2007/04/17 16:50:36		ACU 00275245	ドアは解除されました。	解除スイッチが使用されました。
2007/04/17 16:50:36	森野, 美里	ACU 00275245 (Out)	アクセス許可されました:入力されたID...	入退室なし。
2007/04/17 16:50:31	システム・ソフトウェア		ACUの設定が変更されました。	設定が変更されました: ACU 00275245
2007/04/17 16:50:17	森野, 美里	ACU 00275245 (Out)	管理用リターン	
2007/04/17 16:50:15	森野, 美里	ACU 00275245 (In)	アクセス許可されました:入力されたID...	入退室なし。
2007/04/17 16:50:13	小林, 美	ACU 00275245 (In)	アクセス許可されました:入力されたID...	入退室なし。

日時	場所	イベント
<input checked="" type="checkbox"/> 2007/08/07 14:51:01	本館エントランス	電源のダウン。
<input checked="" type="checkbox"/> 2007/08/07 14:51:00	本館エントランス	ドアのこじ開けです。
<input checked="" type="checkbox"/> 2007/08/07 14:50:52	本館エントランス	ドアのこじ開けです。
<input checked="" type="checkbox"/> 2007/08/07 14:50:50	本館エントランス	ドアのこじ開けです。
<input checked="" type="checkbox"/> 2007/08/07 14:50:49	本館エントランス	ドアのこじ開けです。
<input type="checkbox"/> 2007/08/07 14:35:23	本館エントランス	ACUからの応答無し
<input type="checkbox"/> 2007/08/07 14:30:02	本館エントランス	ACUからの応答無し
<input type="checkbox"/> 2007/08/07 14:17:10	2号館入り口	ACUからの応答無し

イベント画面上的アラーム履歴をクリックすると『アラームの確認』ウィンドウが表示されます。

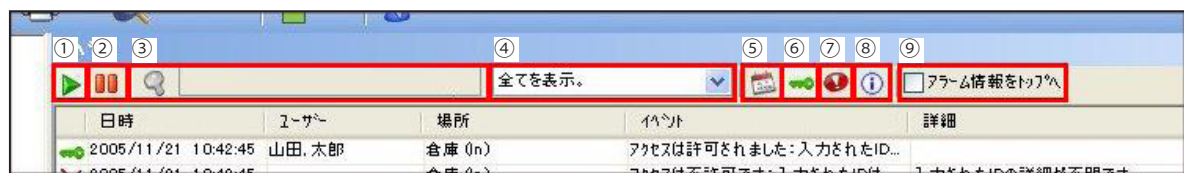
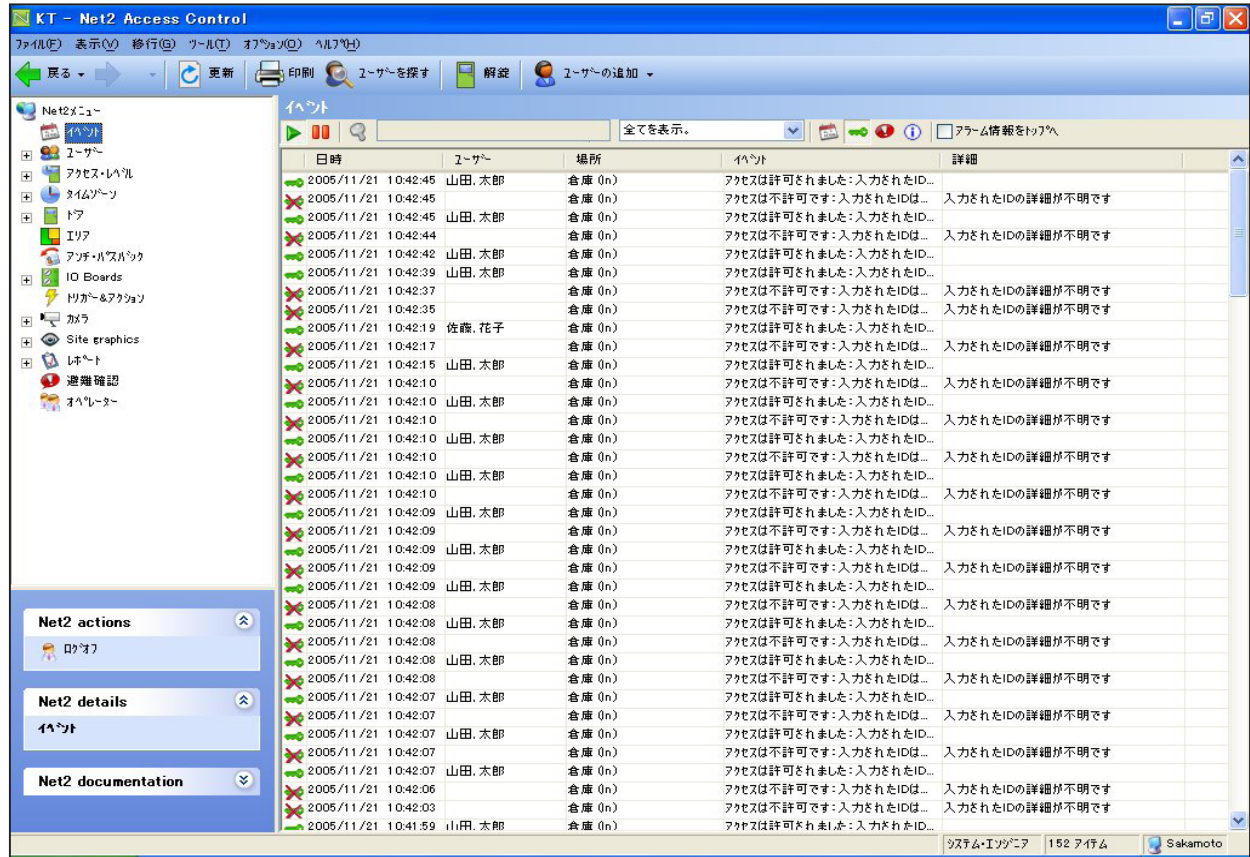
確認を行いたいアラームにチェックマークを入れ、OK ボタンをクリックして下さい。

アラームの確認を行うとアラームのアイコンの色が赤から緑に変わります。

## 4-2. イベント（履歴）情報の見方

イベントはコントローラとパソコンがオンライン時（通信している時）に表示されます。オフライン時は、最大2,300件のイベント情報がコントローラに保存され、通信の復旧とともにパソコンへダウンロードされます。イベントのダウンロードにはシステムの規模・パソコンのスペックにより時間がかかることがあります。

アクセス情報、システム情報についてのイベントはシステム運用開始時から全てサーバー内に蓄積されます。履歴データは、レポートとして、ユーザー/管理ドア/期間等項目を指定し、出力することが出来ます。



### <各ボタンの説明>

- ① 再生マーク：PC と ACU はオンライン状態にあります。
- ② 一時停止：オフライン状態です。イベント画面で検索をすることが出来ます。
- ③ 検索バー：オフライン時条件を入力することで、履歴を検索することが出来ます。
- ④ 表示条件：過去1時間・今日・過去7日間・全てのいずれかのイベント表示条件を設定することが出来ます。
- ⑤ 履歴情報の量・PCのスペックにより、表示まで時間のかかることがあります。
- ⑥ イベント全部を表示：左の表示条件の下、イベントを全部表示させます。
- ⑦ 入退室履歴のみ表示：左の表示条件の下、入退室履歴のみを表示させます。
- ⑧ アラーム履歴のみ表示：左の条件の下、アラーム情報を表示させます。
- ⑨ システム関連の履歴を表示：左の条件の下、システム関連の履歴を表示させます。
- ⑩ アラーム情報をトップへ：アラーム情報を履歴の上部へ表示させます。

## 5. ユーザーの設定・登録

### 5-1. ユーザー画面

#### ユーザー情報

名・ミドルネーム・姓・部署・電話番号・Fax 番号・個人番号を入力することができます。

開始日：入退室権限の開始日

最終日：入退室権限を終了させる日です。

設定する場合はチェックボックスにチェックマークを入れ、最終日の選択を行って下さい。

The screenshot shows the 'Net2 Access Control' software interface. The main window displays user information for '山田, 太郎' (Yamada, Taro). The fields include:
 

- 名 (Name): 太郎 (Taro)
- 姓 (Surname): 山田 (Yamada)
- 部署 (Department): 無し (None)
- 電話番号 (Phone Number):
- Fax 番号 (Fax Number):
- 個人番号 (Personal Number):
- 開始日 (Start Date): 2005/11/18
- 最終日 (End Date): 期限設定なし (No date set)

 Below the user information, there are tabs for 'アクセス権' (Access Rights), 'カード' (Card), 'その他' (Other), 'メモ' (Memo), and 'イベント' (Event). The 'アクセス権' tab is active, showing a table of access rights for various areas (e.g., サーバールーム, 社員通用口, 正面入口, 倉庫) with a time zone of '全ドア・24時間' (All doors, 24 hours).

アクセス権：各ドアに対してどのような権限を持つかが設定します。

カード：ユーザーが所有しているカード番号です。

その他：ユーザー情報を入力することができます。

メモ：ユーザー情報を入力することができます。

イベント：このユーザーの履歴情報を表示することができます。

現在の設定：ユーザーの入退室権限を確認することができます。

共有番号：テンキーが接続されている場合に使用します。

#### 入退室権限の設定

個別に設定：各ドアに対して、個々にタイムゾーンを設定することができます。

アクセスレベルを使用：あらかじめ登録したアクセスレベルを使用することができます。

写真の取込み：写真を取込む場合に設定します。

写真の削除：取込んだ写真を削除します。

権限の停止：ユーザーの全ての権限を停止します。もう一度権限を設定すれば、再度使用出来ます。

レコードの削除：ユーザーに関する情報を全て削除します。

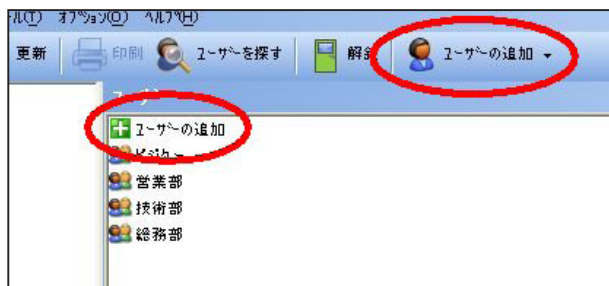
## 5-2. ユーザーの登録

1、デスクトップ・リーダーを使い登録する。

デスクトップ・リーダーとして接続されているリーダーに新規登録するカードをかざして下さい。

下記画面が表示されますので、必要事項を入力して下さい。

2、手動で登録する。(あらかじめカード番号が分かっている場合)



左図の『ユーザーの追加』をクリックして下さい。

カード番号の登録が終了しますと、鍵のマークと番号が表示されます。

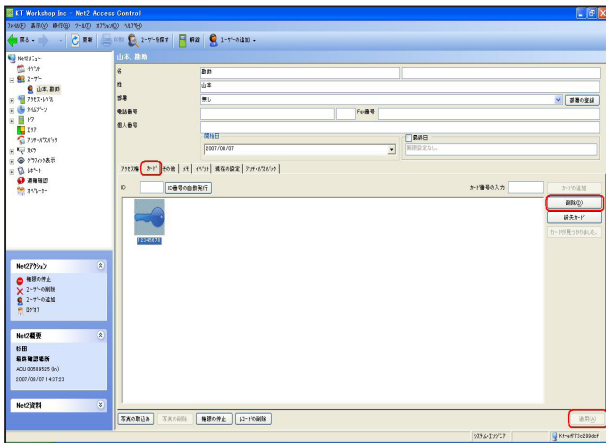
ID 番号：システムにテンキーが接続されている場合に入力する番号です。個人に発行する場合に 4 桁の番号を手動で入力するか、自動発行して下さい。

## 5-3. ユーザーの検索

ユーザーを探すをクリックして下さい。

左のウィンドウが表示されますので、条件を入力して下さい。カード番号から検索する場合には、<99999999>のように数字の前後にカッコをつけて検索して下さい。

## 5-4. ユーザーカードの削除方法

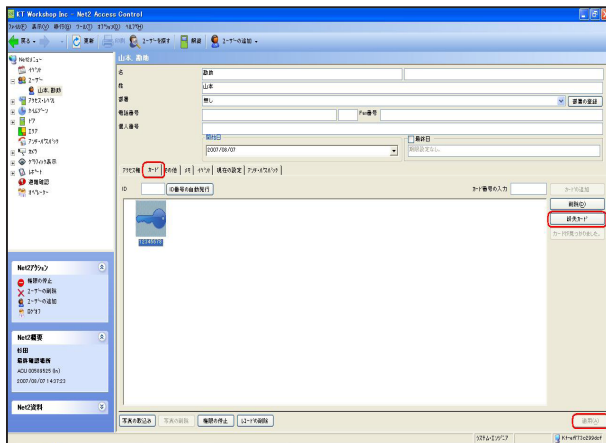


削除したいユーザーカードの画面を開きます。  
鍵マークをクリックして選択します。  
画面右側の『削除』ボタンをクリックします。  
下記ウィンドウが表示されますので、よろしければ『はい』を選択して下さい。



画面右下の『適用』をクリックすればカードの削除処理完了です。

## 5-5. ユーザーカードの紛失カード処理



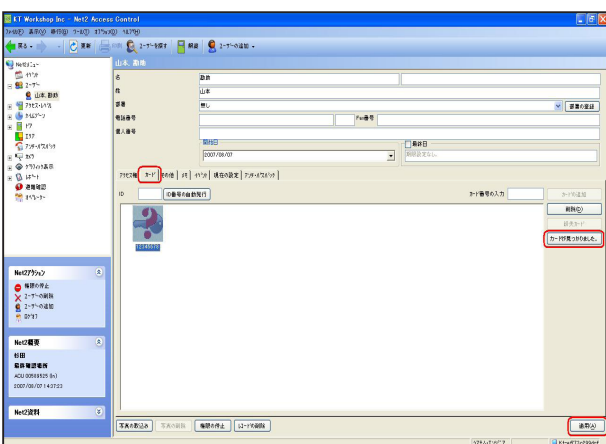
紛失カードとして処理したいユーザーカード画面を開きます。鍵マークをクリックして選択します。  
画面右側の『紛失カード』ボタンをクリックします。  
下記ウィンドウが表示されますので、よろしければ『はい』を選択して下さい。



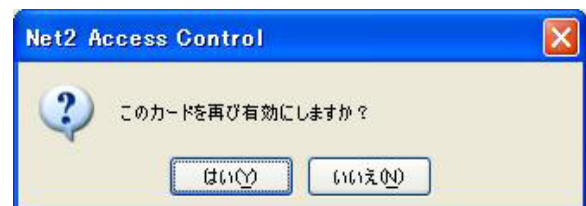
画面右下の『適用』をクリックすれば紛失カード処理完了です。

紛失カードとして処理した場合、履歴画面で『紛失カード』の表示がされます。

## 5-6. 紛失したユーザーカードの再発行



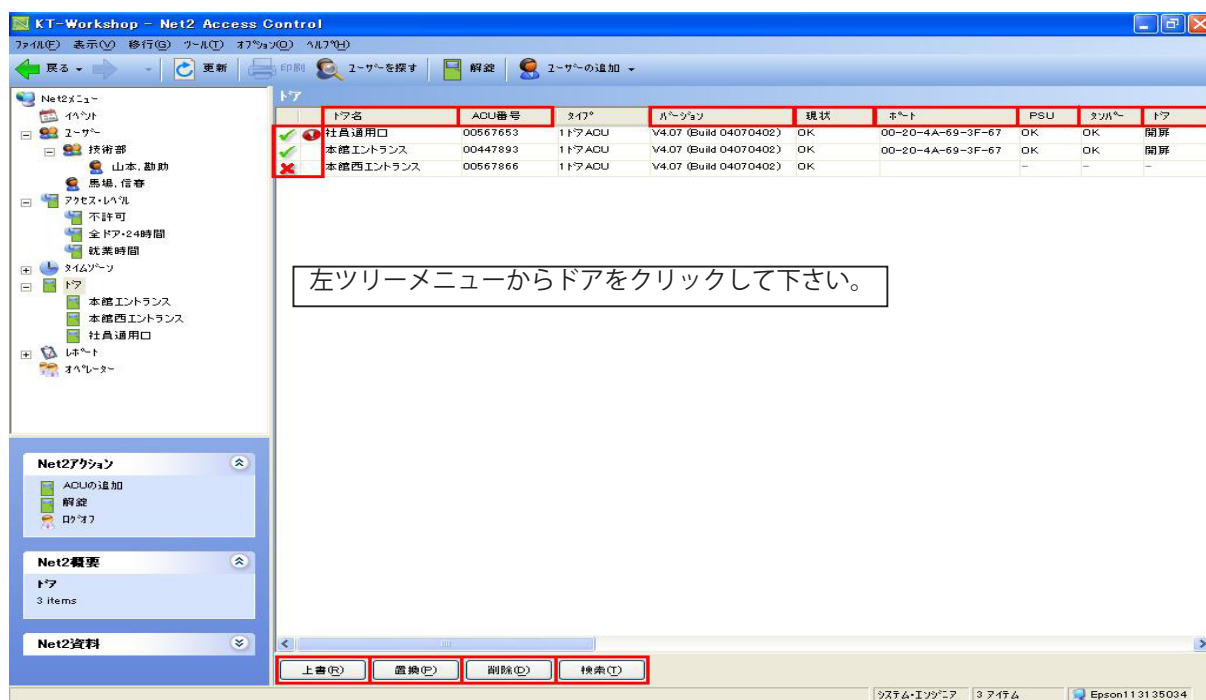
紛失カードとして処理したいユーザーカード画面を開きます。鍵マークをクリックして選択します。  
画面右側の『カードが見つかりました』ボタンをクリックします。下記ウィンドウが表示されますので、よろしければ『はい』を選択して下さい。



画面右下の『適用』をクリックすれば紛失カード処理完了です。

紛失カードが再びユーザーカードとして使用出来ます。

## 6. コントローラの設定・登録



### <各タイトルについて>

ドア名：ドア（コントローラ）の名称。

ACU 番号：コントローラの製造番号。

バージョン：コントローラに書き込まれているファームのバージョン。

現状：コントローラの状態。『OK』 パソコン (Net2 サーバー) と各コントローラの通信が確立されている状態。  
『返答無し。』 パソコン (Net2 サーバー) と各コントローラの通信が遮断されている状態。

『ファームを更新します』 Net2 コントローラのファームを更新中の状態。

ポート：Net2 コンバータ使用時は、そのシリアル COM ポート番号。

ネットワークデバイス使用時は、そのデバイスの MAC アドレス。


PSU：PSU の接続状態。電源のダウンの有無。

タンパー：タンパー接続。オープンまたはクローズ。

ドア：ドアの開閉状態。（ドアモニター信号の設置時のみ）


### <各アイコンについて>

 : Net2 コントローラ（ドア）に対してアラームが発生している場合に表示。

 : Net2 コントローラと Net2 サーバーの通信が確立している場合に表示。

 : Net2 コントローラと Net2 サーバーの通信が遮断されている場合に表示。

※この状態はイベント情報の更新や各設定の変更がドア行われません。

 : Net2 コントローラのファームを更新している場合に表示。

### <コントローラ操作メニューについて>

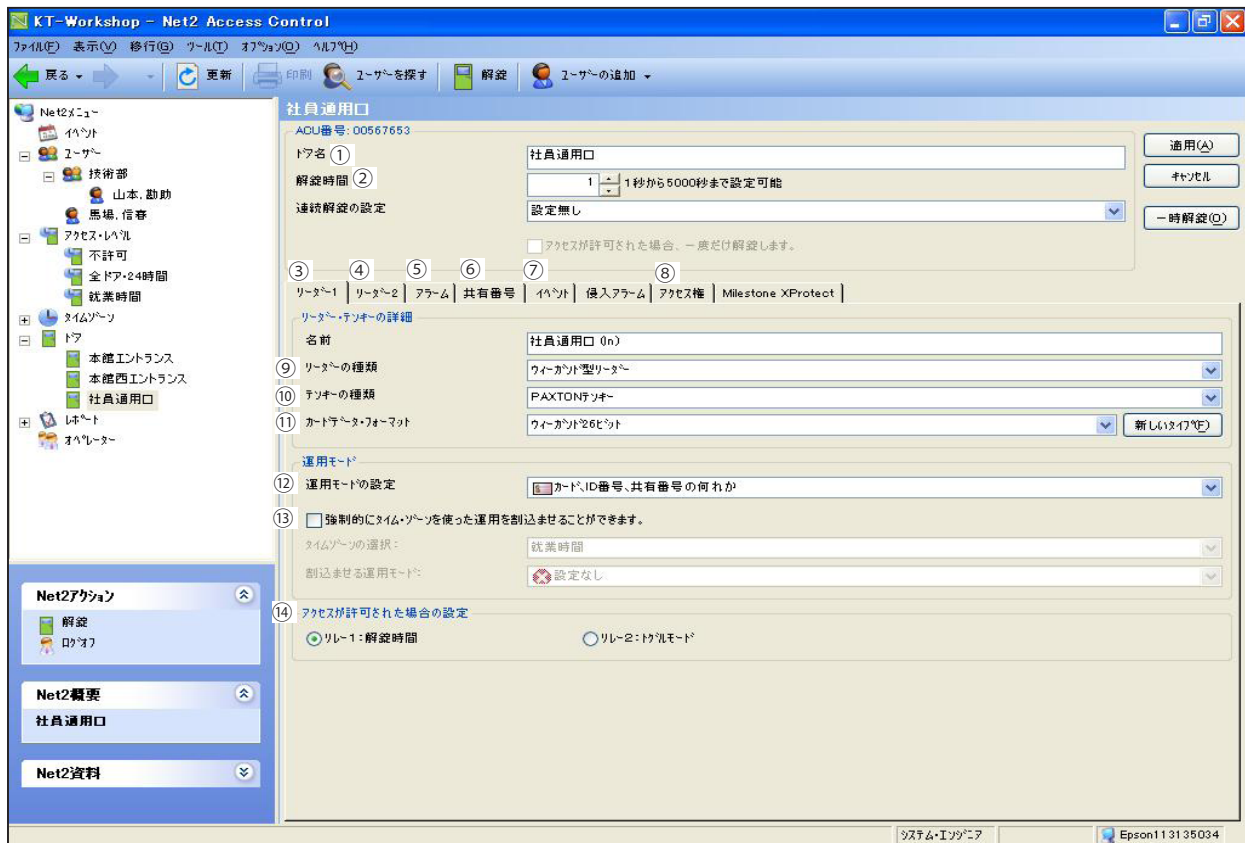
上書：Net2 コントローラに対して手動で設定の上書きを行う場合に使用。

置換：既存の Net2 コントローラを交換する際、それぞれの設定情報を引継ぎ交換する際に使用。

削除：既存の Net2 コントローラを一覧から削除する場合に使用。

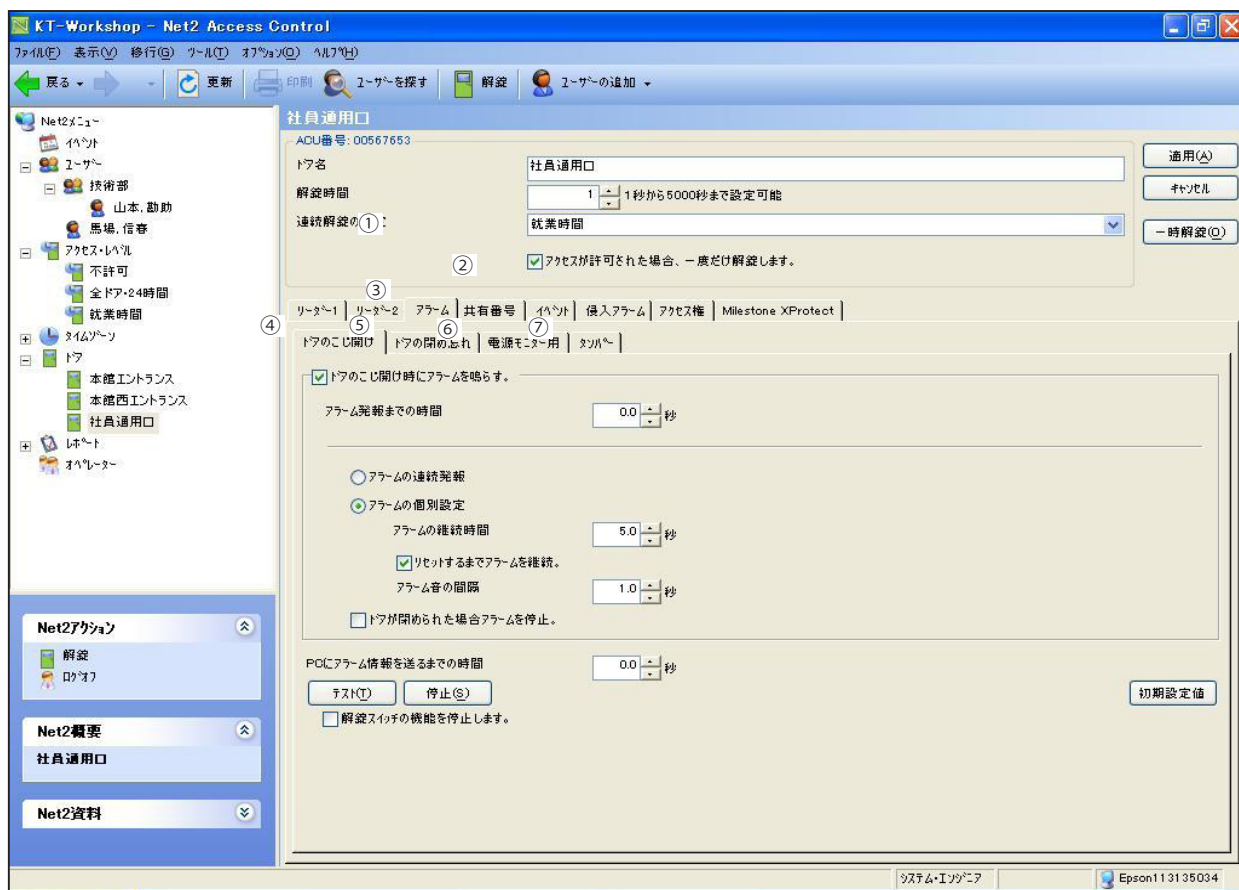
※削除した Net2 コントローラの設定・履歴データは消失します。

検索：接続されている Net2 コントローラを検索する場合に使用。



### <各設定について - 1 >

- ① ドア名：各コントローラに名前をつけることが出来ます。
- ② 解錠時間：ドアを解錠する場合、電気錠を何秒間解錠するかを設定することが出来ます。(1 ~ 5000 秒)
- ③ リーダー 1：入室側に接続されているリーダー / テンキーの設定です。
- ④ リーダー 2：退室側に接続されているリーダー / テンキーの設定です。
- ⑤ アラーム：各アラームの設定が出来ます。
- ⑥ 共有番号：テンキーを選択した場合のみ使用出来ます。
- ⑦ イベント：選択したドアのイベントを閲覧することが出来ます。
- ⑧ アクセス権：選択したドアのアクセス権を確認することが出来ます。
- ⑨ リーダーの種類：『Paxton 製、クロック & データ型、ウィーガンド型』を選択出来ます。
- ⑩ テンキーの種類：Paxton 製のみ選択出来ます。
- ⑪ カードデータ・フォーマット：『PAXTON リーダー』 選択時、初期値・PAXTON カード・銀行カード・最初の 8 桁。  
『クロック & データ型リーダー』 選択時、初期値・PAXTON カード・銀行カード・最初の 8 桁。  
『ウィーガンド型リーダー』 選択時、ウィーガンド 26 ビットをそれぞれ選択出来ます。また、新しいタイプとして登録することも可能です。
- ⑫ 運用モードの設定：カードリーダーを入退室で使用するか、カードの登録用（管理用リーダー）として使用するかの選択が出来ます。
- ⑬ タイムゾーンを使った運用モード：タイムゾーンを使い、リーダーの運用モードをある時間帯だけ 変更して使うことが出来ます。
- ⑭ アクセスが許可されたときの設定：Net2 コントローラはリレーを 2 個装備しています。リレー 1 は設定された時間出力し、自動的に復帰します。リレー 2 はトグルモード用です。1 度有効な信号を送ると再度信号が提示されるまで出力を継続します。リレー 2 は機械警備のスイッチの ON/OFF として活用します。



### <各設定について-2>

- ①連続解錠の設定：設定した時間帯を連続して解錠させる事が出来ます。時間帯はタイムゾーンを利用して設定することが出来ます。
- ②『アクセスが許可された場合、一度だけ解錠します。』：チェックを入れることで、連続解錠機能をアクセスが許可された時点から開始させることが出来ます。
- ③アラームの設定：『ドアのこじ開け』、『ドアの閉め忘れ』等の設定を行うことが出来ます。
- ④ドアのこじ開け：ドアがこじ開けられた場合、アラーム出力します。  
電氣的に解錠された場合以外全てが『こじ開け』と判断されます。  
例えば、ドアノブやサムターンを回して退室した場合も『こじ開け』と見なされます。
- ⑤ドアの閉め忘れ：カード等によりドアが開けられ、閉め忘れた場合にアラーム出力します。
- ⑥電源モニター：電源がダウンした場合、アラーム出力します。
- ⑦その他タンパー (Tamper)：各種タンパー接続のタンパー情報をアラーム出力します。

アラームは次の項目について設定します。

- ・警報情報の入力後、何秒後に警報情報を出力するか。
- ・アラームをパソコン側からリセットするまで警報を鳴らし続けるか。時間により自動的に停止させるか。
- ・何秒後に警報情報をパソコンに送るか。等を設定します。  
電子ブザー等をコントローラに接続すれば、警報として鳴らすことが出来ます。

## 7. タイムゾーンの設定・登録

入退室に関する許可時間帯の設定。各ドアに対して入退室を許可する時間帯を設定します。アクセスレベルを設定するときにタイムゾーンは必ず使用します。

次の3つのタイムゾーンは初期登録されています。

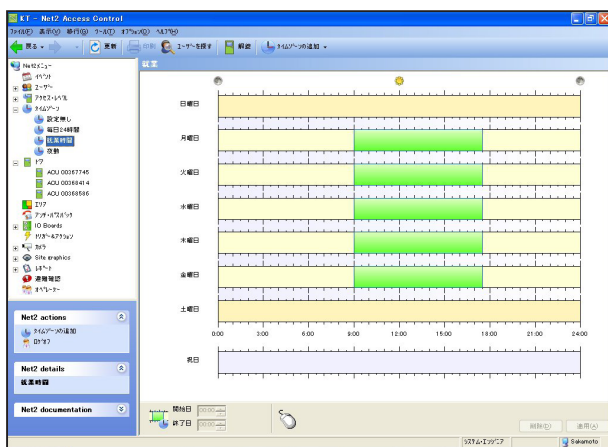
- ・ 設定なし：一切の入退室の権限なし
- ・ 毎日 24 時間：全ての時間帯について入退室の権限あり
- ・ 就業時間：入退室の権限は 9：00～17：30 の間

「設定なし」と「毎日 24 時間」の設定を変更することは出来ません。

また、必要なタイムゾーンは別途追加作成して下さい。

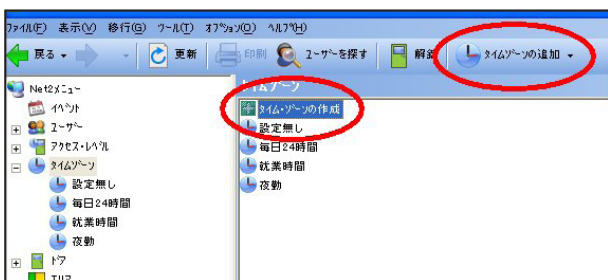
タイムゾーンは最大 64 種類登録することが出来ます。

(例 1) 就業時間：月曜から金曜までの 9：00～17：30 までの設定

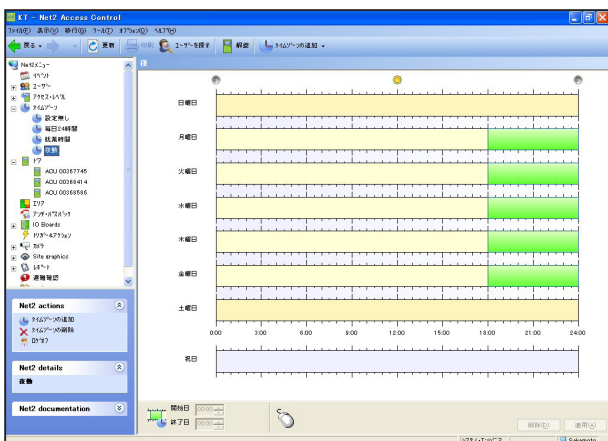
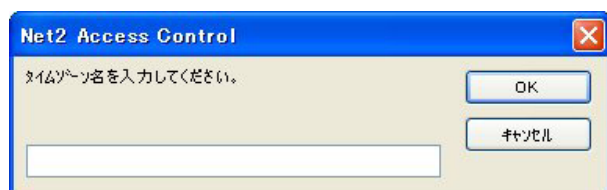


入退室を許可する時間帯は緑の帯で表示されます。この例では、月曜日から金曜日までの 9：00 から 17：30 までの入退室の権限です。祝日の設定は画面最下部のブルーの帯を設定します。祝日の指定は、オプション (P25 参照) より行います。

(例 2) 夜勤：月曜から金曜までの 18：00～24：00 までを新しく追加登録する。



『タイムゾーンの作成』をダブルクリックするか『タイムゾーンの追加』をクリックして下さい。下記ボックスが表示されますので、任意のタイムゾーン名を入力して下さい。



設定したい時間帯をマウスで選択します。左記の例では、月曜日から金曜日までの 18：00 から 24：00 までの入退室の権限です。祝日の設定は画面下部の帯を使い設定します。祝日の指定は、オプション (P25 参照) より行います。

## 8. アクセスレベルの設定・登録

### 8-1. アクセルレベルについて

個人に与える入退室の権限を事前にパターン化（アクセスレベル）し、それを各々に適用することで、入退室の権限を各ユーザーごとと実行することなく、効率よく設定することが出来ます。

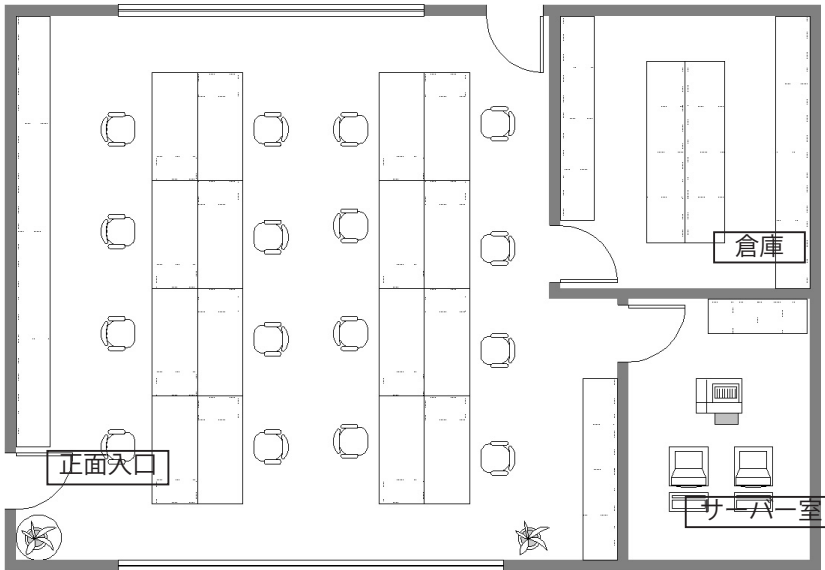
初期設定では以下の3つのアクセスレベルが登録されています。

- ・ 就業時間：タイムゾーンの就業時間にて設定された時間帯のみ、入退室できる権限です。
- ・ 不許可：どのドアに対しても入退室をすることが出来ません。
- ・ 全ドア・24時間：24時間全てのドアに対し入退室の権限があります。

「不許可」「全ドア・24時間」は変更することが出来ません。また、必要なアクセスレベルは別途追加作成して下さい。  
アクセスレベルは全部で250種類登録することが出来ます。

[設定例]

社員通用口

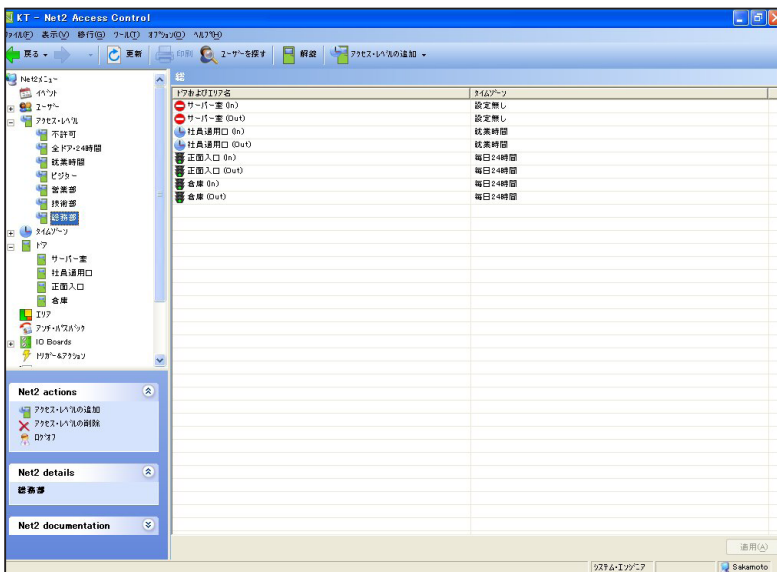


	正面入口	社員通用口	サーバー室	倉庫
営業部員	○	○	×	×
総務部員	○	9時～17時	×	○
技術部員	○	○	○	×
ビジター	9時～17時	×	×	×

○：入退室権限有り

×：入退室権限無し

9時～17時：時間帯による入退室の権限

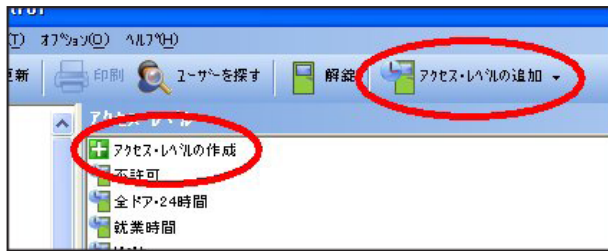


この設定では、総務部員は正面入口・倉庫は常時、社員通用口は就業時間のみ、サーバー室は不許可（設定なし）となっています。

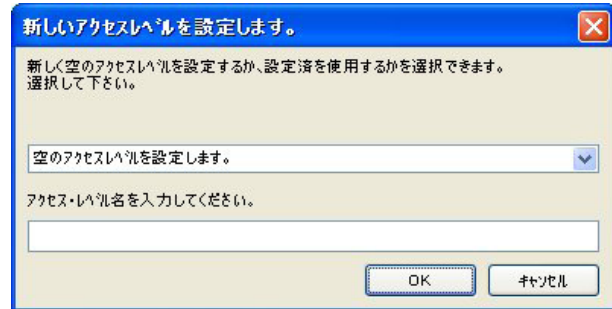
時計マーク表示：タイムゾーンにて入退室権限が設定されていることを示します。

進入禁止マーク：入退室の権限がないことを示します。

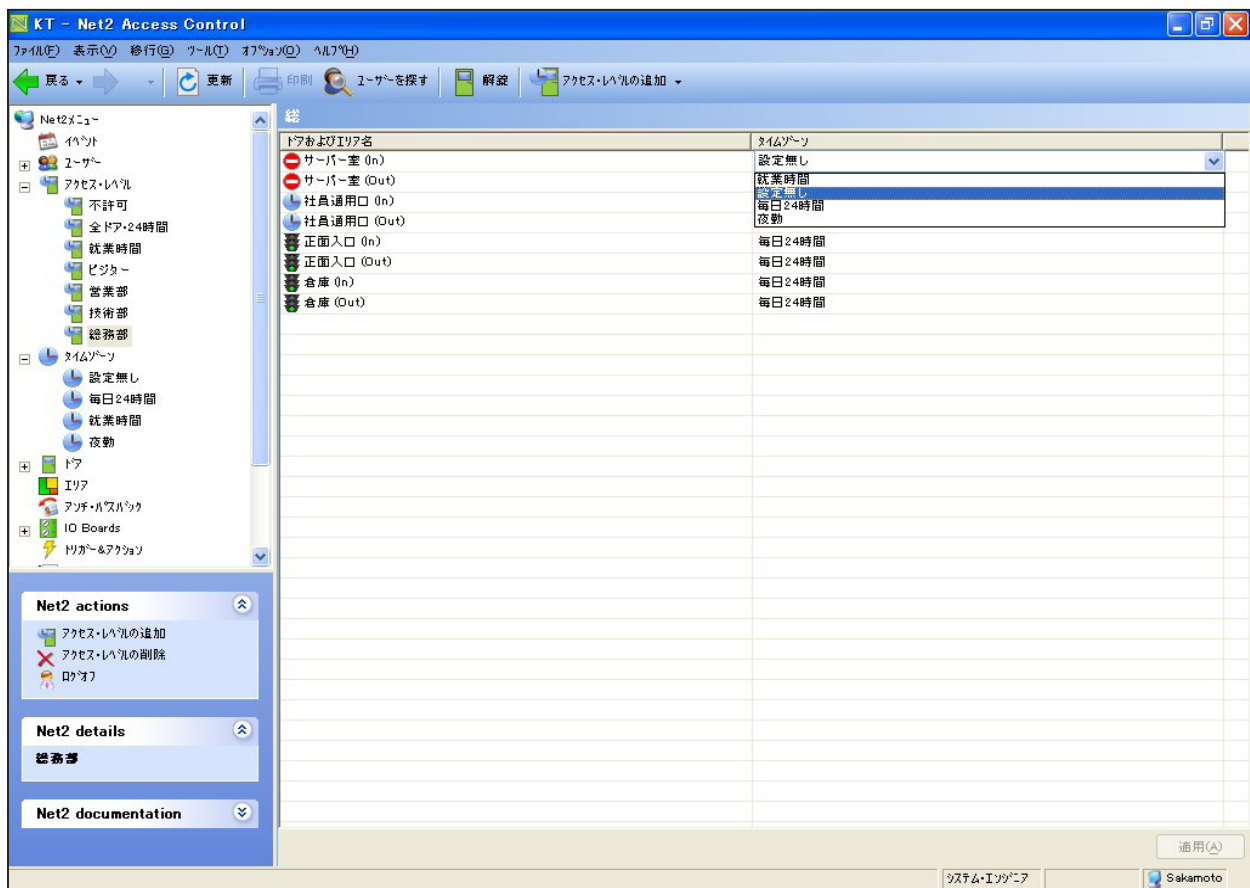
## 8-2. アクセスレベルの新規登録方法



『アクセスレベルの作成』をダブルクリックするか、『アクセスレベルの追加』をクリックして下さい。下記ボックスが表示されますので、任意のアクセスレベル名を入力して下さい。



## 8-3. アクセスレベルの設定方法



各ドアの in (入室) と out (退室) のそれぞれに設定をすることが出来ます。  
(リーダーの設定がされているときのみ)  
タイムゾーン欄をマウスで選択し、もう一度クリックして下さい。  
上図のように選択画面が開きますので、任意のタイムゾーンを選択して下さい。

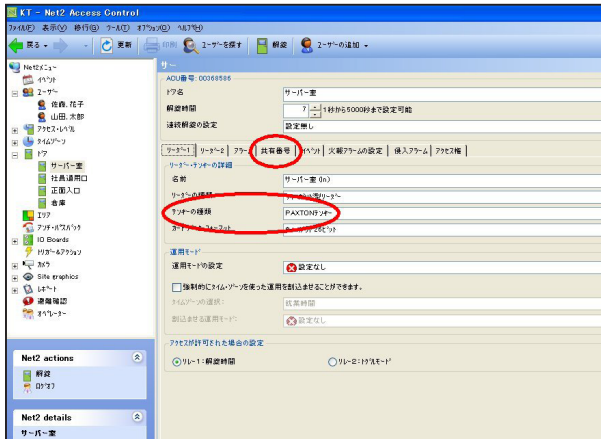
## 9. テンキーの設定方法

システムにテンキーが設置されている場合、共有番号・ID 番号の設定が出来ます。

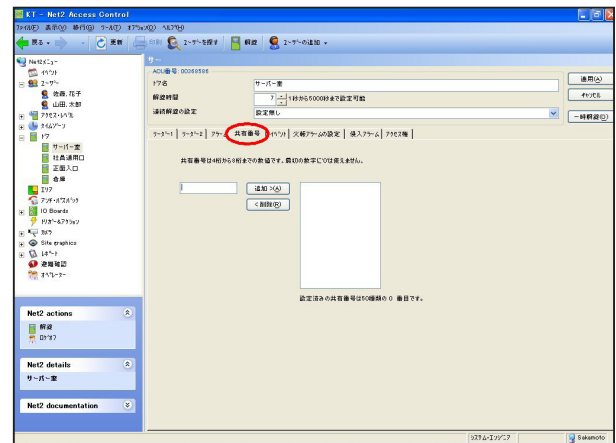
共有番号：個々の識別は出来ません。4～8桁までの数字を50種類登録出来ます。

ID 番号：個人に割り当てる番号です。4桁の重複しない番号を手動で入力するか、自動発行ボタンを押して自動発行して下さい。

### 9-1. 共有番号の設定

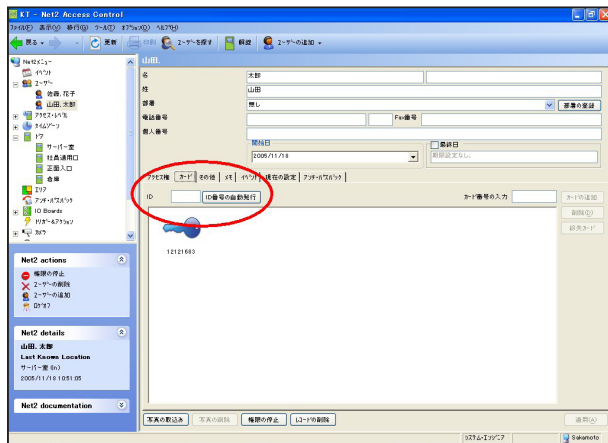


テンキーの種類を選択します。(現在のところ PAXTON のテンキーのみ選択可能です。) テンキーを選択することにより、共有番号を設定することが出来ます。



共有番号で個人の識別を行うことは出来ません。4～8桁の数字を50種類登録することが出来ます。

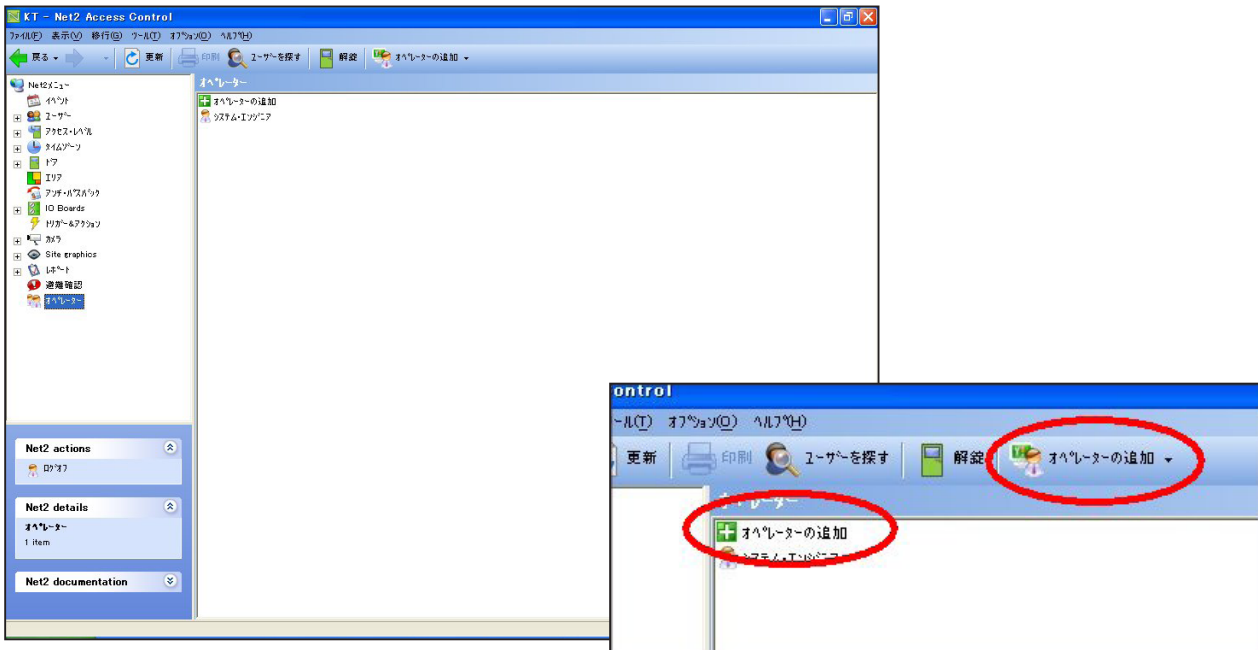
### 9-2.ID 番号の設定



ID 番号は各個人に設定する番号です。ユーザーのカードの画面を開いて下さい。左図の ID の欄に重複しない4桁の番号を入力して下さい。または、自動発行して下さい。

## 10. オペレーターの登録

システムにログインできるユーザーを登録することが出来ます。『オペレーターの追加』をクリックして下さい。



下記ウィンドウが表示されますので、管理者として権限を与えるユーザーを登録して下さい。

**オペレーターウィザードステップ1**

オペレーターの権限とパスワードを設定します。登録済みのオペレーターを削除する場合「無し」を選択してください。「終了」で保存、「キャンセル」で中止します。  
警告:パスワードは5桁以内の半角英数字のみです。ご注意ください。

名前(N)

オペレーターの権限(O)

パスワード(P)

パスワードの確認(C)

権限リスト:  
 システムエンジニア  
 カスタムエンジニア  
 スーパーバイザー  
 勤務管理者  
 カード管理者  
 標準(確認のみ)  
 イベント閲覧のみ  
 勤務管理のみ

システムエンジニア：システムのハード・ソフトを含めて全ての設定を行うことが出来ます。

スーパーバイザー：ソフトの設定を行うことが出来ます。

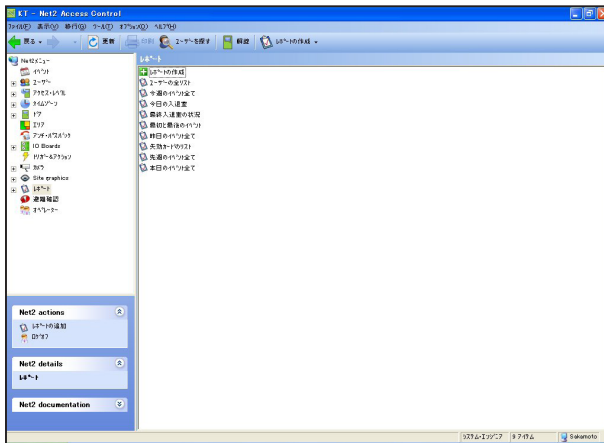
カード管理者：ユーザーの設定を行うことが出来ます。

標準（確認のみ）：設定を閲覧することは出来ますが、変更することは出来ません。

イベント閲覧のみ：履歴情報を閲覧し、その印刷が可能です。

**注意：**パスワードとして登録できるのは5桁以内の半角英数字のみです。

## 11. レポートの作成



イベント（履歴情報）や各種設定情報に関するレポートを作成することが出来ます。  
あらかじめ用意されている項目を利用するか、ウィザードを使い、必要な情報の抽出を行って下さい。

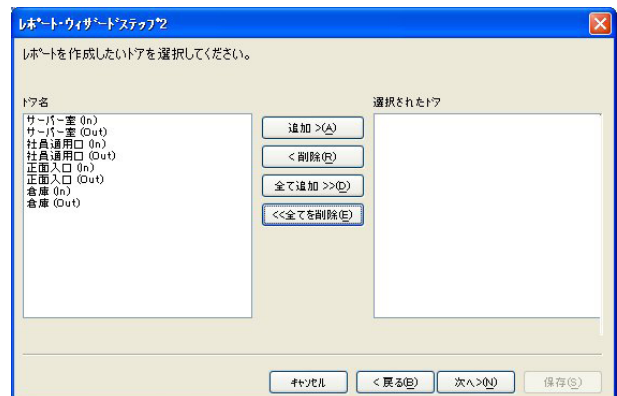


レポートの作成をクリックして下さい。下記のウィザードが表示されますので、指示に従って項目を選択して下さい。

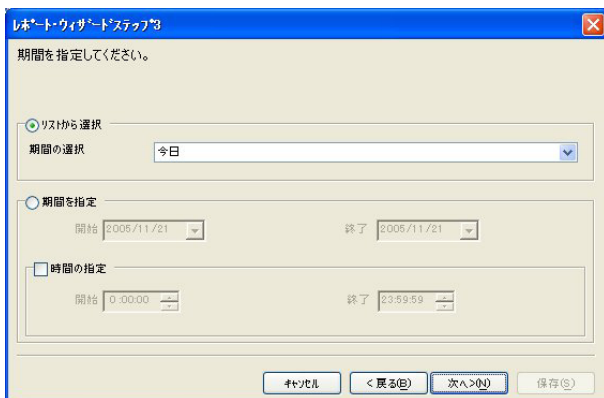
レポートを抽出する対象ユーザーを選択して下さい。



次にドアを選択して下さい。



次に抽出する期間を選択して下さい。

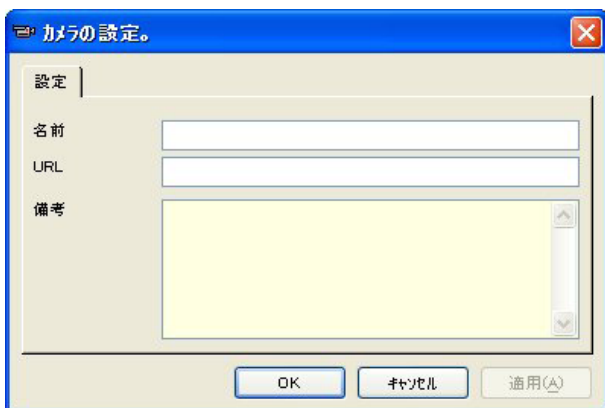
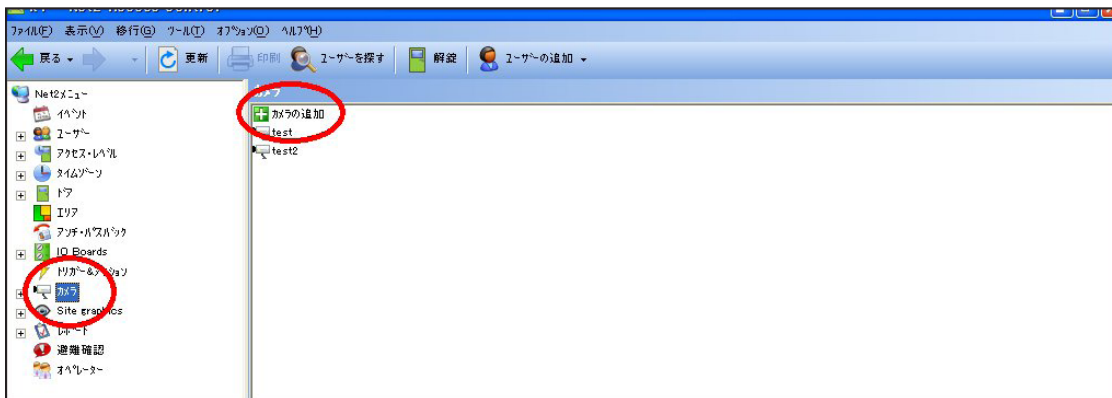


以上の手順で該当するレポートを抽出することが出来ます。

印刷する場合は、『印刷』をクリックして下さい。また、この条件で次回も出力する場合は、『名前（タイトル）を付けて保存』をして下さい。

## 12. カメラの設定方法

Net2 でカメラを使用するには、あらかじめ IP カメラの設定を行う必要があります。各 IP カメラの設定後、Net2 にて設定を行って下さい。ツリーにてカメラを選択して下さい。下記画面が表示されますので、カメラの追加をクリックして下さい。



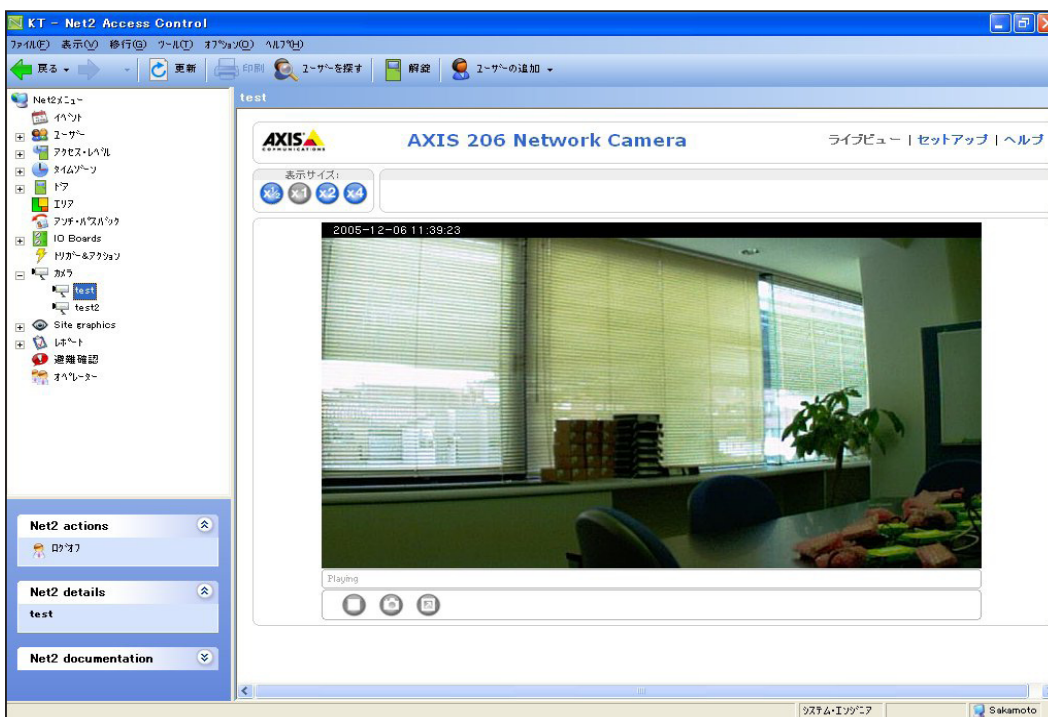
カメラの追加をクリックすると、左記画面が表示されます。

各項目を入力して下さい。

- ・名前：IP カメラの名前
- ・URL：IP カメラの URL または IP アドレスを入力して下さい。
- ・備考：メモ等にご利用下さい。

OK をクリックすれば登録完了です。

<例> IP カメラの設定後、登録したカメラを選択すると下記画面のように表示されます。



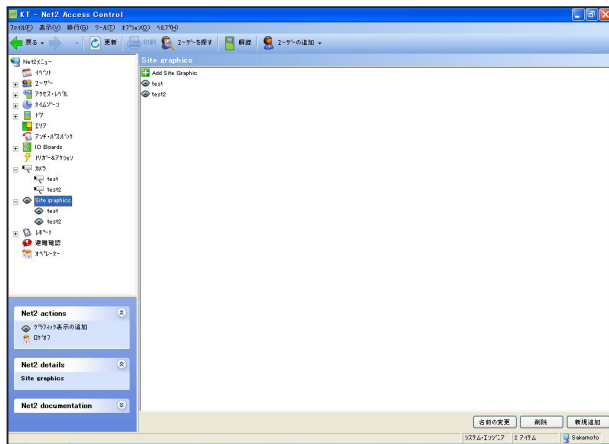
**注意：**表示方法は各 IP カメラにより異なります。全て上記画面のように表示されるとは限りません。

### 13. グラフィック表示の設定

サイトグラフィックを使用することにより、画面上でドア・カメラの状態をリアルタイムで確認することが出来ます。

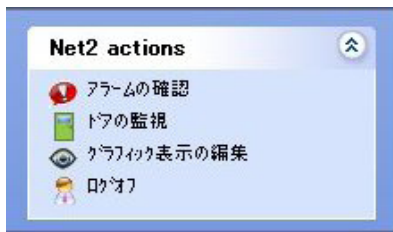
ツリーから『サイトグラフィック』を選択し、『サイトグラフィックの追加』をクリックして下さい。

下記画面が表示されますので、任意の名前を入力して下さい。

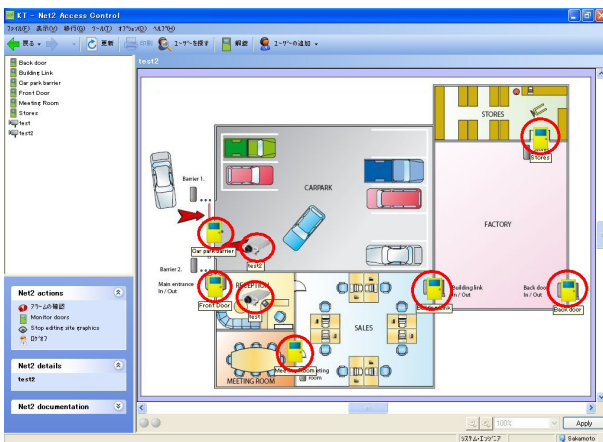
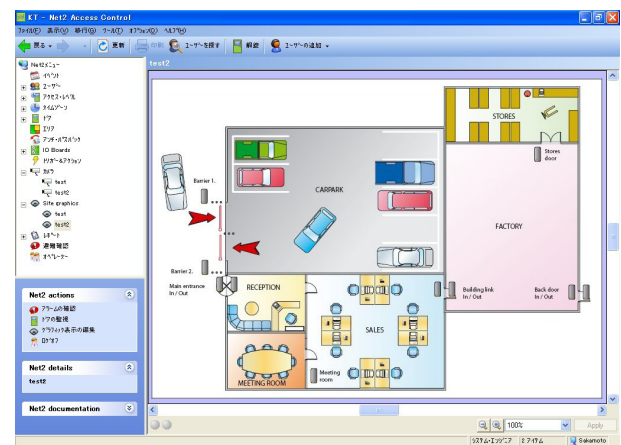


次に取り込む画像の選択をします。画像のファイル形式はjpg または bmp です。画像の取り込みが終了すると、下記のように表示されます。

次のグラフィック表示の編集を選択して下さい。



下記のような画面表示に切り替わります。



左欄より設定したいドア・カメラを選択して下さい。次に、画面上で配置したい箇所にマウスを合わせクリックして下さい。左画面のように各ドア・各カメラを配置することが出来ます。

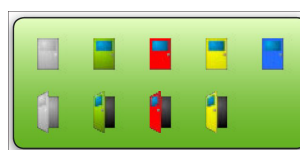
一度ドラッグしたドア・カメラはマウスで選択することにより移動出来ます。

ドアの状況を確認することが出来ます。

画面左の『ドアの監視』を選択することで、「ドアのこじ開け」や「閉め忘れ」時にグラフィック表示により確認することが出来ます。

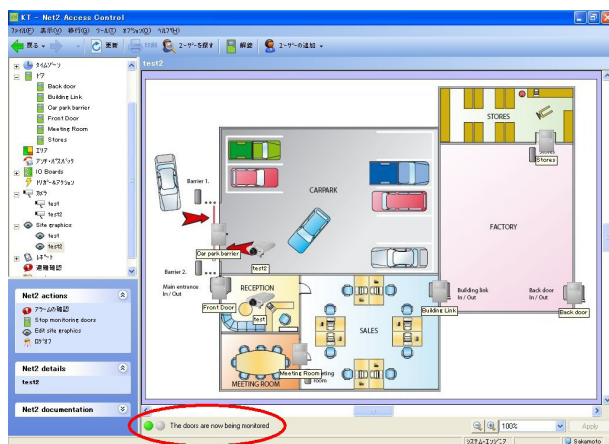
『ドアの監視』状態の場合、左図のように左下にモニター中であることが表示されます。

また、グラフィック表示の識別は以下の通りです。



- ・ 灰：ドア閉
- ・ 緑：通常のドアの開放
- ・ 黄：ドアの閉め忘れ
- ・ 赤：ドアのこじ開け

- ・ ACU とサーバーが通信していない場合は赤の開放
- ・ 青：編集時（ドア位置を変える時）

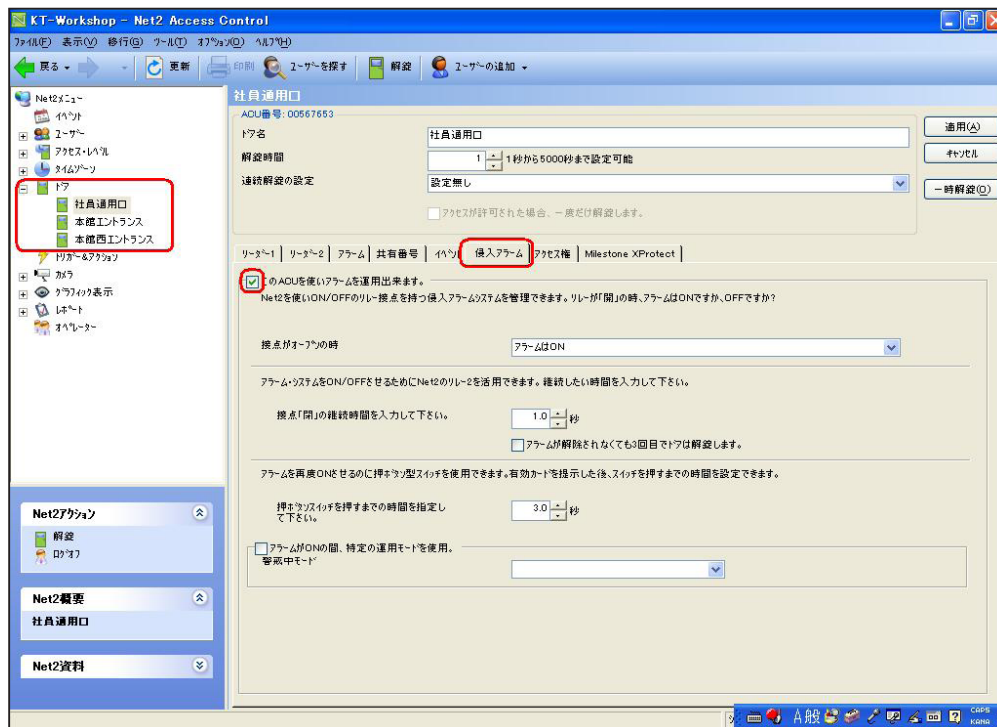


## 14. 侵入アラームの設定

Net2 の総アラーム機能を使用する場合、Net2 は侵入アラーム機能を設定します。侵入アラーム機能が ON の状態においては、アラーム機能の解除権限を持つ管理者のみが Net2 にアクセスすることが出来ます。その他のユーザーはアクセス権を有しているにもかかわらず、アクセスが許可されることはありません。

### 14-1. 侵入アラームの設定

侵入アラームの設定は Net2 アプリケーションで行います。上記選択がなされている場合、アプリケーション上のドアの設定画面で、侵入アラームを設定する画面が表示されるようになります。



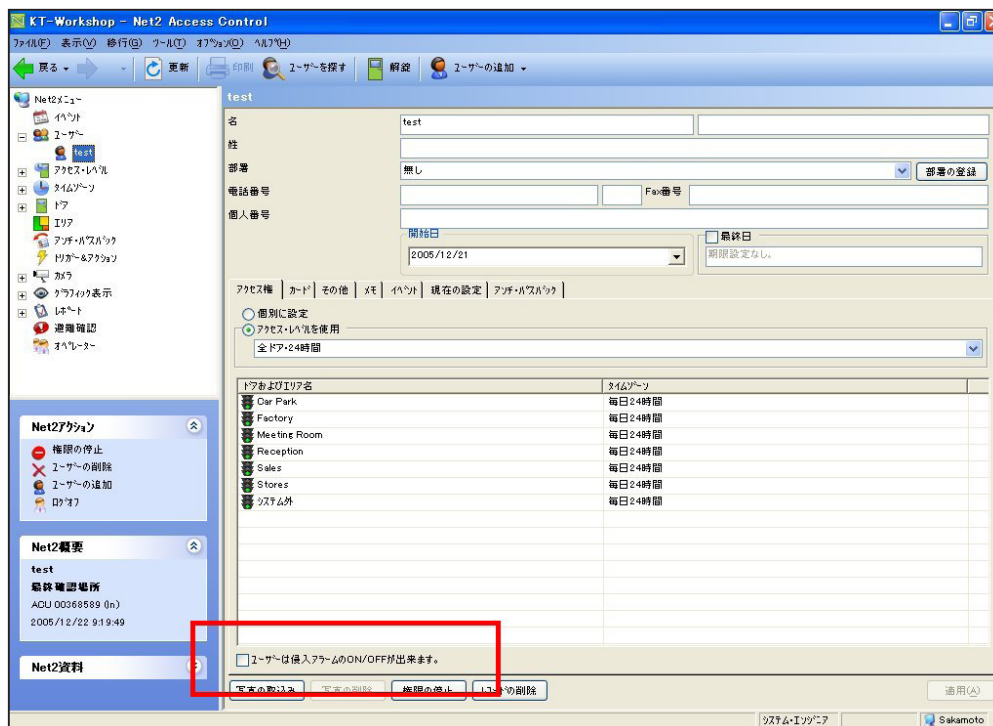
侵入アラームを使用するには、以下の項目の設定を行う必要があります。

- ◆機械警備からの信号接点の状態アラームの ON/OFF を設定します。(通常は ON で使用して下さい。)
- ◆リレー 2 の活用時間を設定します。(通常は 1 秒に設定して下さい。)
- ◆正常にアラームが解除されなくても 3 回目までドアを解錠したい場合、チェックマークを入れて下さい。
- ◆侵入アラームを有効にする場合、押しボタンスイッチを使用します。管理者のカードを提示し、押しボタンスイッチを押すまでの時間を設定して下さい。

**注意：**侵入アラームをかける場合、全ての ACU に設定を行って下さい。

## 14-2. 管理者の設定

侵入アラームを有効にする管理者を選択します。ユーザーの設定画面を開き、画面下部の侵入アラームの ON/OFF 権限を有効にして下さい。



## 14-3. 侵入アラームの有効 / 無効

侵入アラームを有効にするには、管理者がカードをリーダーにかざし、設置された押しボタンを押すことにより設定出来ます。

侵入アラームを解除するには、管理者がカードをリーダーにかざして下さい。侵入アラームが有効な状態の時、他のユーザーはアクセス許可されることはありません。

K50 型テンキーを使用時、警備をかけるには\*を押し、7秒以内に暗証番号を入力して下さい。KP50 型テンキー & 非接触カードリーダーを使用する場合、カードか暗証番号またはその両方を\*を押し、7秒以内に入力して下さい。

**注意：**侵入アラームを使用するには、設置システム機器が侵入アラーム用に設定（接続）されている必要があります。アプリケーション上で設定するだけで、すぐに使用できる機能ではありません。また、設置されている（またはこれから設置する）ACU に対して侵入アラーム機能を適用させる場合、各 ACU に 1 台の機械警備用インターフェースが必要になります。現設置システムで使用可能であるか、また、システム機器側の設定等につきましては、設置・施工代理店までご相談下さい。

## 15.Milestone XProtect ソフトウェアとの連動

### 15-1. 概要

Net2 と Milestone XProtect Enterprise を連動させることにより、イベントと関連して監視カメラ映像を閲覧することが出来ます。これにより、管理者が何かしらのアラームが発生した時にイベントからアイコンをダブルクリックすることにより簡単にその時の映像を参照することが出来ます。

### 15-2.Milestone XProtect との統合

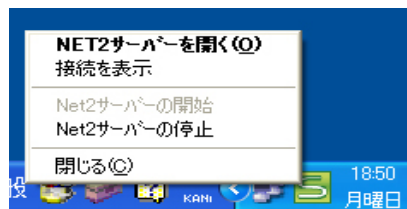
Net2 での設定を行う前に Milestone のソフトウェアがインストールされ稼動状態である必要があります。Milestone のソフトウェアの設定が完了しましたら、Net2 がインストールされているサーバーに Milestone XProtect Remote Client をインストールします。Remote Client をインストールするには、Internet Explorer を通して（例えばアドレスバーに <http://MilestoneSvr.> と入力して）Milestone サーバーをブラウザして下さい。Milestone サーバーと接続し、Remote Client をインストールするためのオプションを開くことが出来ます。



「Download and install XProtect Remote Client locally」をクリックして下さい。インストールウィザードが起動します。Milestone のインストールが終了しましたら、Net2 サーバーの設定を行う必要があります。Net2 サーバーが起動している場合、アイコンを右クリックして『閉じる』を選択して終了させて下さい。

デスクトップのショートカット（またはクイックランチャー）から XProtect Remote Client を起動して下さい。ログイン項目を入力し、Milestone サーバーに接続して下さい。一度入力をしますと、再度ブラウザを設定する必要はありません。（パスワードは接続時には入力します。）

Net2 を起動しますと、自動的に XProtect Remote Client を認識します。



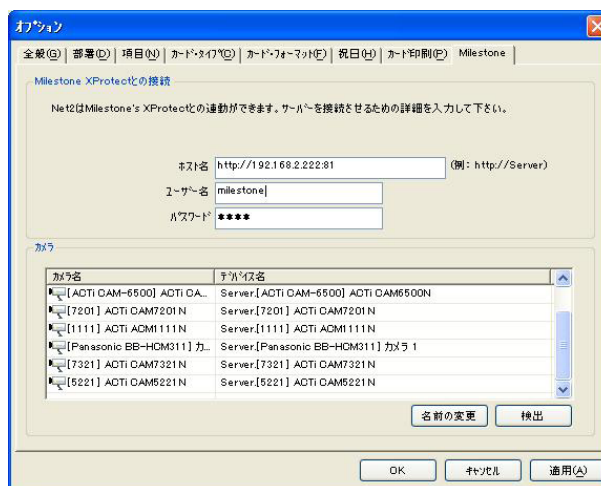
### 15-3.Net2 の設定

オプションメニューから Milestone XProtect オプションを選択して下さい。サーバーへの接続設定を行うことが出来ます。

Milestone がインストールされているサーバー（例：<http://MilestoneSvr.>）を入力し、その後、ユーザーネームとパスワードを入力して下さい。

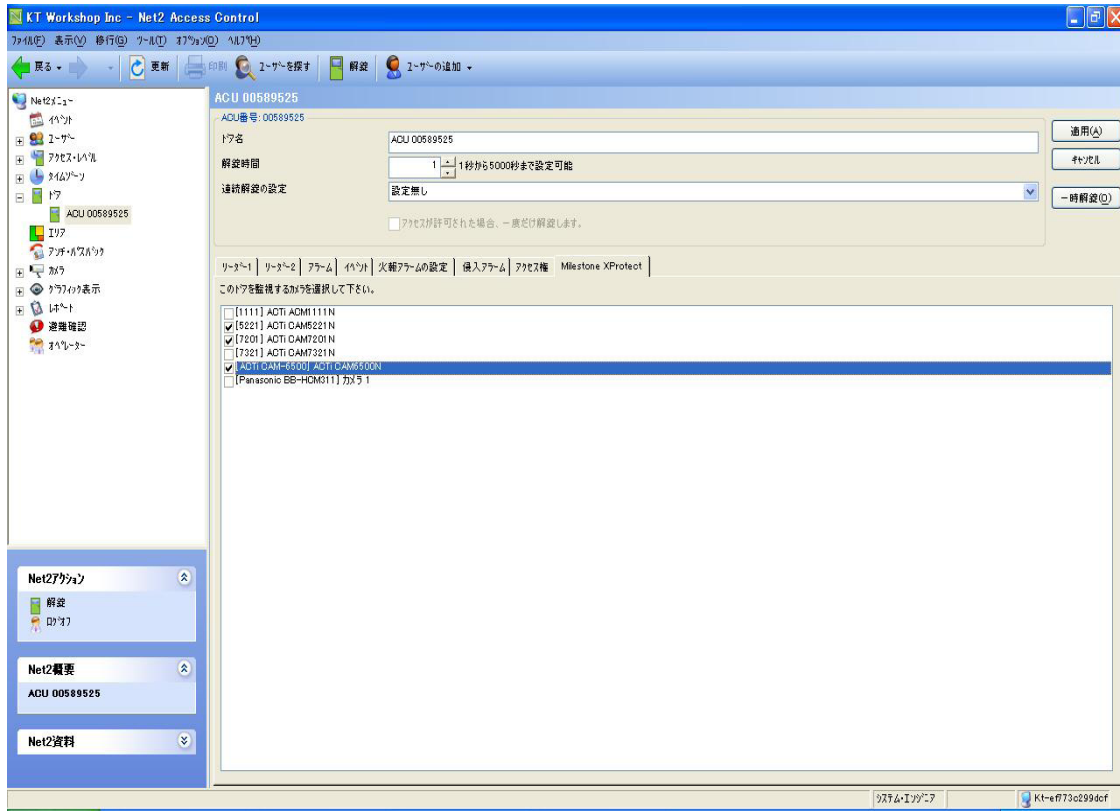
検出『Detest』ボタンをクリックすることにより、自動的に Milestone ソフトウェア内のカメラを認識することが出来ます。

Net2 クライアントとして、ワークステーションをインストールしている PC においても同様の設定を行う必要があります。



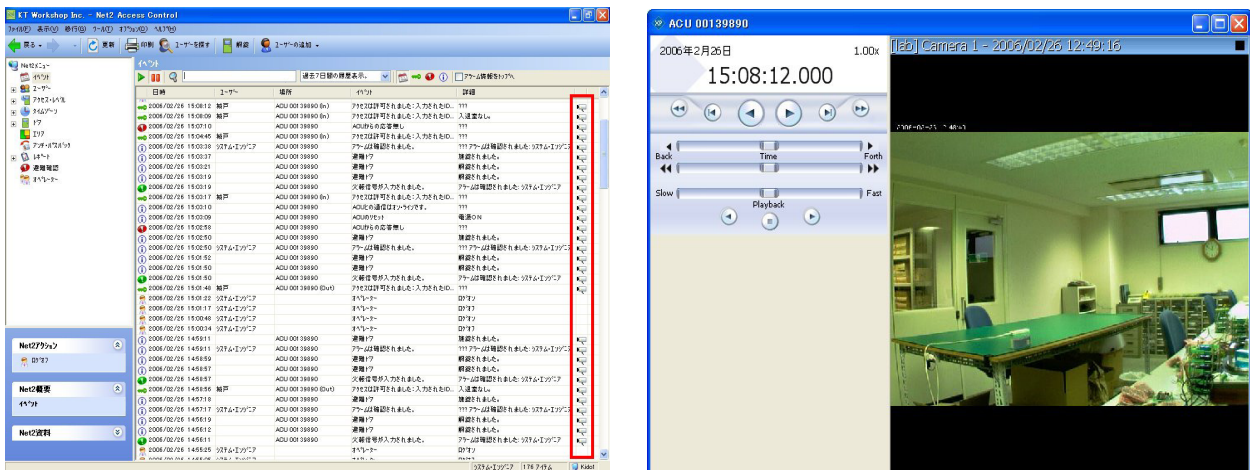
### 15-4. ドアに対する設定

カメラが設置してあるドアに対しても設定を行う必要があります。ドア設定の Milestone XProtect タブを開いて下さい。このタブのリスト内から、ドアと関連しているカメラにチェックマークを入れて下さい。モニターされる全てのドアに対して設定を行って下さい。



### 15-5. イベント画面

IP カメラに関連したイベントはイベント欄の横の追加アイコンで表示されます。アイコンをダブルクリックすると、そのイベントに関連する Milestone XProtect ソフトウェアに格納されたビデオ画像が表示されます。

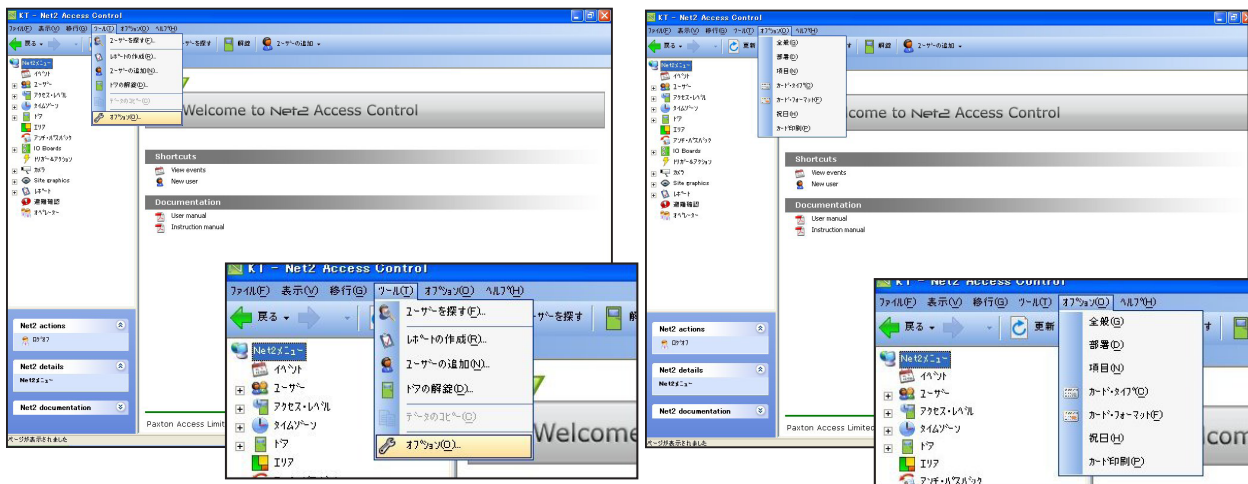


**注意：**

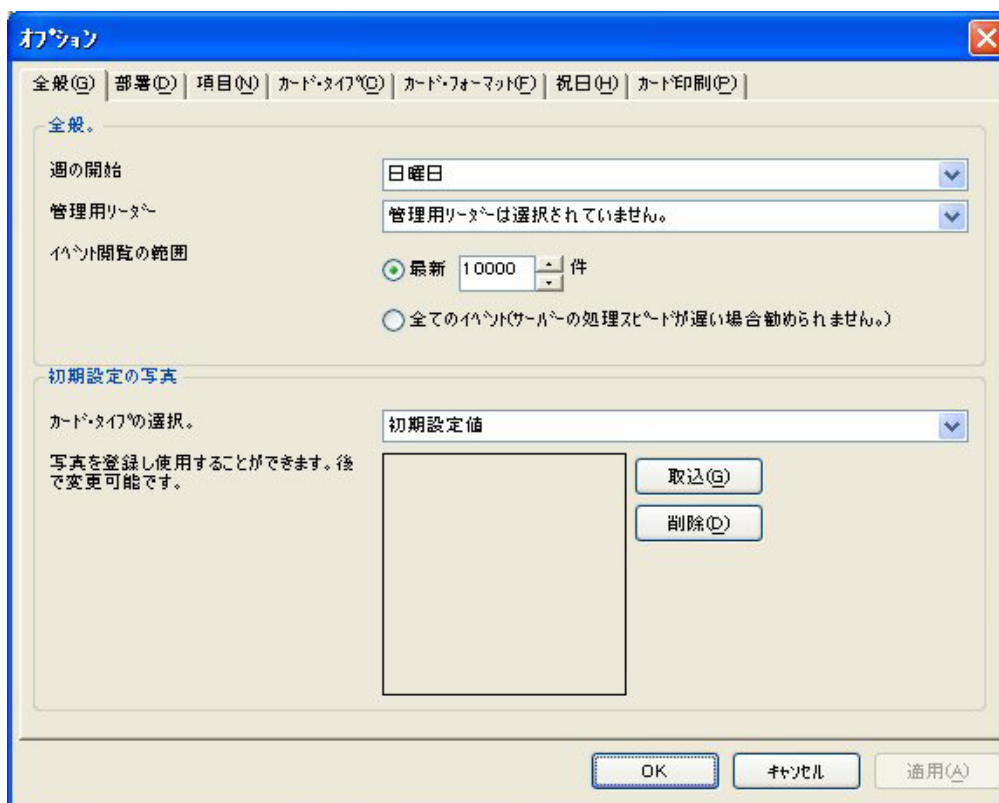
- Milestone XProtect Enterprise・Professional とともに Net2 との連動は可能です。
- Milestone ソフトウェアは専用サーバにインストールして下さい。
- <http://www.milestonesys.com> で Milestone 製品に関する詳細を見ることが出来ます。(英文)

## 16. オプションの設定

システムに関して様々な設定を行うことが出来ます。



上記画面のいずれかより、設定したい項目を選択して下さい。下記画面が表示されます。



全般：週の開始・管理用リーダーイベント閲覧の範囲等を設定出来ます。

部・課：個人のデータベースを部・課ごとに管理出来ます。ユーザー数が多い場合、管理しやすくなります。

項目：個人のデータベースの項目を編集し、カスタマイズすることが出来ます。

カード・タイプ：個人のデータベースを作成するときにカード・タイプ（ひな形）として登録すれば、データを効率よく登録することが出来ます。

カード・フォーマット：Paxton 製以外のカードシステムを使用する場合のデータ・フォーマットを作成することが出来ます。

祝日：祝日・休日等の設定を行います。設定された日は祝日として認識され、タイムゾーンの祝日の時間帯設定に従います。

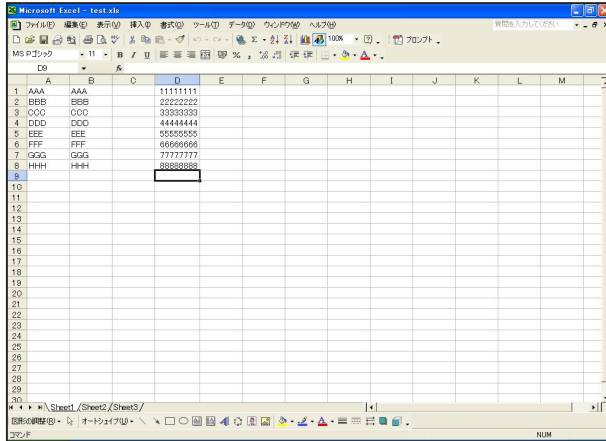
カード印刷：カード・プリンターが接続されている時に使用します。

## 17. データのインポート・エクスポート

ユーザーデータのインポート・エクスポートをすることができます。

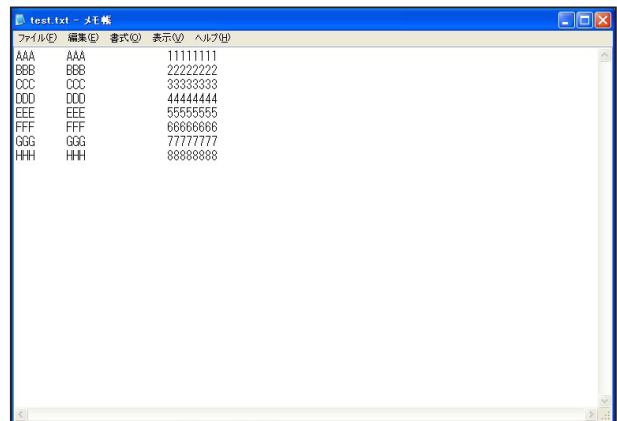
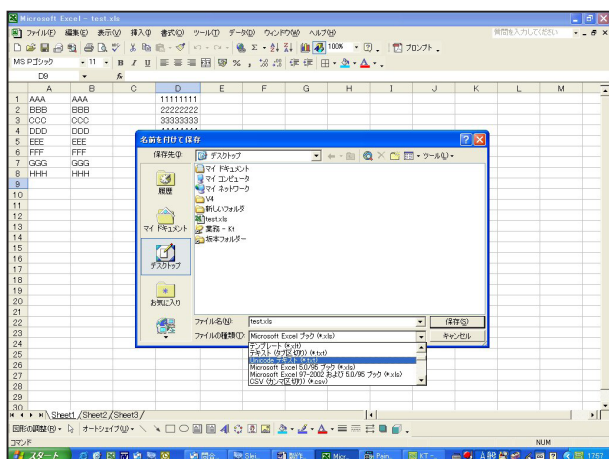
### 17-1. インポート

1、Microsoft Excelにて編集・作成したシートを例に説明します。データの順序は下記の通りです。項目番号(A-Z)は列方向です。



項目	A	B	C	D	E
内容	姓 (必須項目)	名 (必須項目)	ミドルネーム	カード番号 (8桁以内)	ID番号 (4桁のみ)
F	G	H	I	J	K
部・課	アクセスレベル	電話番号	内線	FAX	開始日
L	M	N	O	P	Q
最終日	住所1	住所2	市・町	国	郵便番号
R	S	T	U	V	W
自宅電話	自宅FAX	携帯電話	E-mail	役職	開始日
X	Y	Z			
車両番号	メモ	個人番号			

2、ファイルメニューから『名前をつけて保存』を選択し、『ファイルの種類』を『Unicode テキスト』を選択して保存して下さい。Net2はV3.26よりUnicodeテキスト形式のデータにのみ対応しています。



保存したファイルを開くと上記のようになります。

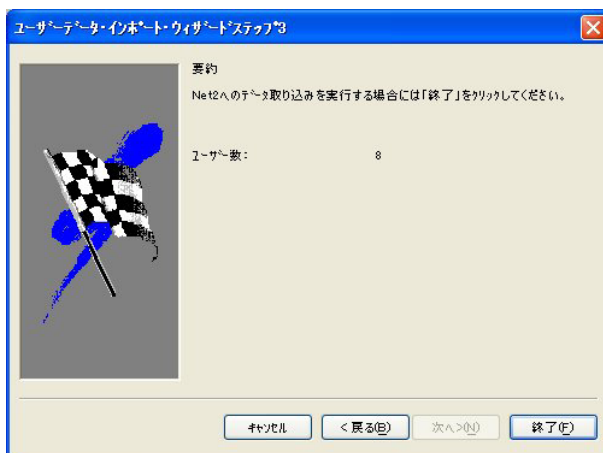
3、Net2 のファイルメニューよりインポートを選択して下さい。インポート・ウィザードが立ち上がります。



先程作成し、保存した「Unicode テキスト」ファイル  
を指定します。

右端の『タブ』を選択して下さい。  
他のチェックマークは外して下さい。

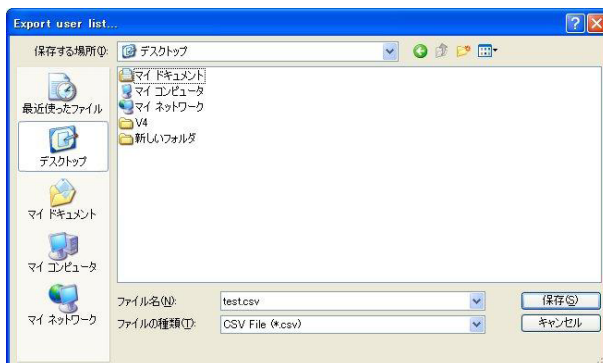
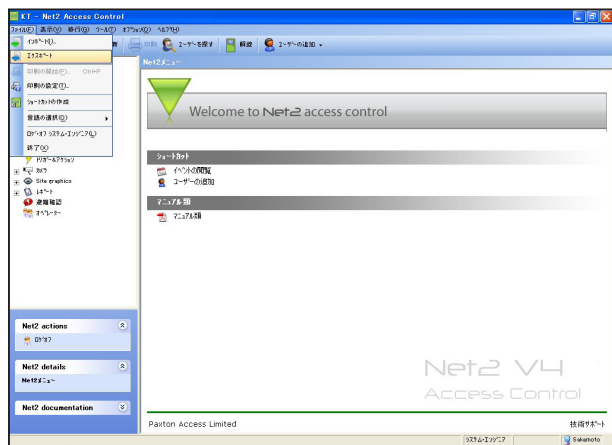
4、データが正しく確認できるとステップ2に進みます。 5、 終了 (F) をクリックして下さい。



6、取り込んだデータ内容を各コントローラに書込みます。システムの規模、パソコンの性能により多少時間がかかることがあります。

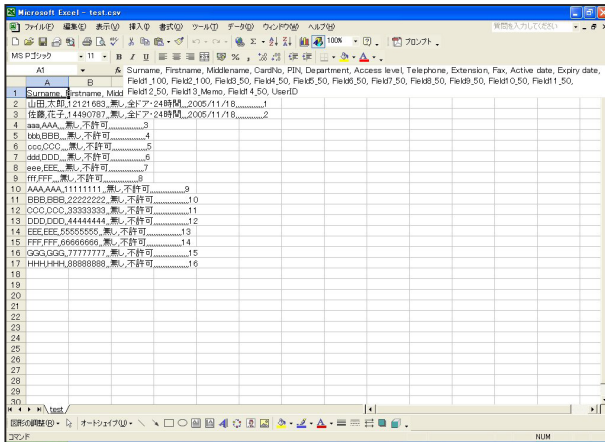
## 17-2. エクスポート

1、ユーザーデータを「CSV ファイル」形式で抽出します。Net2 ファイルメニューより「エクスポート」を選択

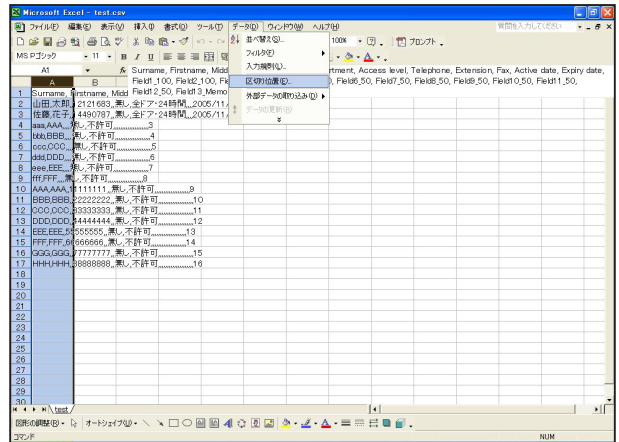


上記ウィンドウが表示されますので、任意のファイル  
名を入力し、保存して下さい。ファイルの種類は「CSV  
File」です。

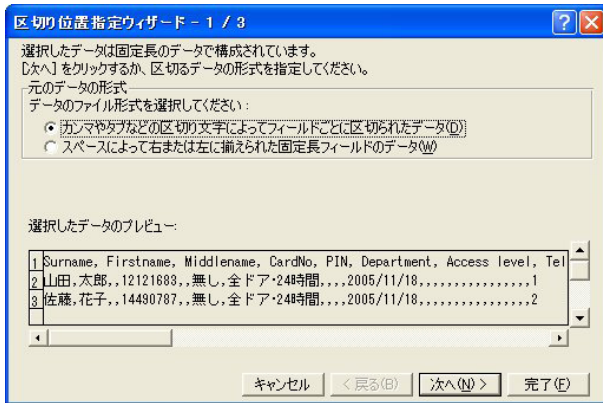
2、保存したファイルを開きますと、下記のように表示されます。この状態ですと、作業しづらいので編集しなおします。



3、A列を全て選択し、メニューより『区切り位置』を選択して下さい。



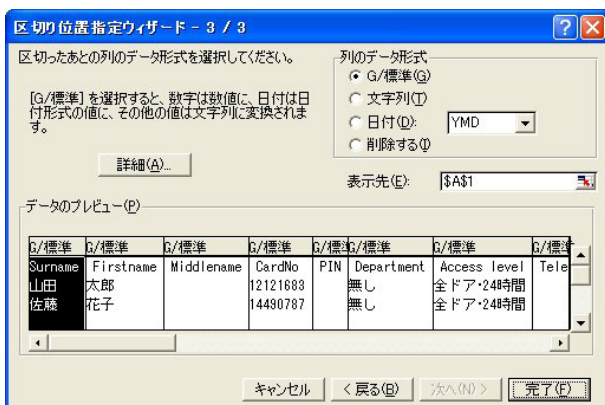
4、下記のウィザードが表示されますので、『カンマやタブなどの区切り文字によってフィールドごとに区切られたデータ』を選択して下さい。



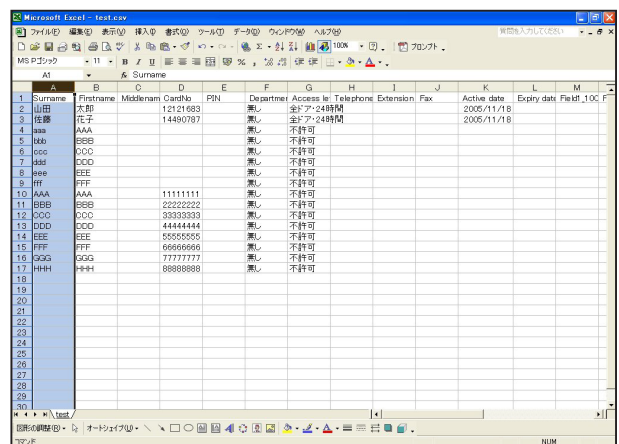
5、区切り文字を『カンマ』にして下さい。下記のように表示されます。



6、ウィザードの指示に従い、『完了』を選択して下さい。



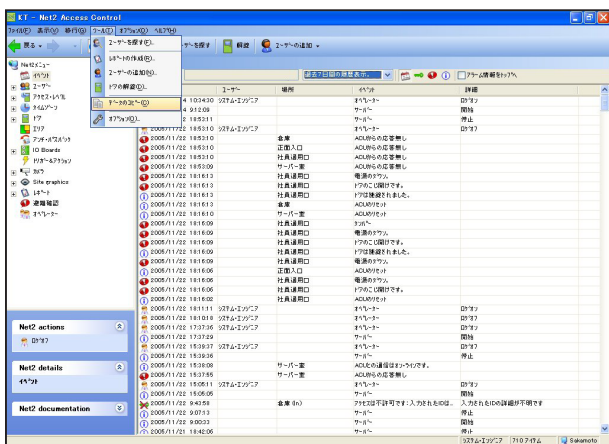
7、下記のようにデータが編集されます。



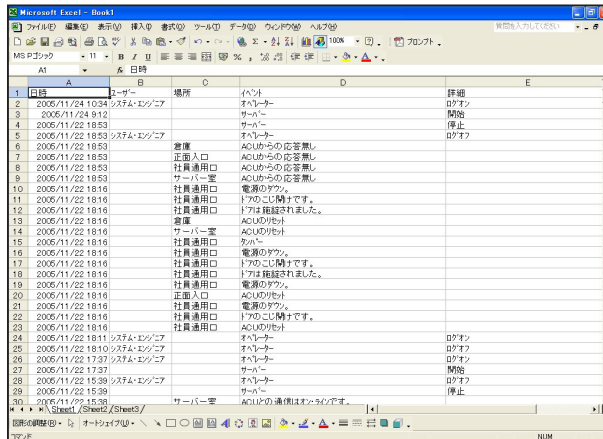
8、編集されたファイルをエクセル形式で保存して下さい。

### 17-3. イベント（履歴）データの取り出し

イベントはデータを取り出し、他のアプリケーションで活用することが出来ます。  
 イベント画面を開き、メニューのツールから「データのコピー」を選択して下さい。



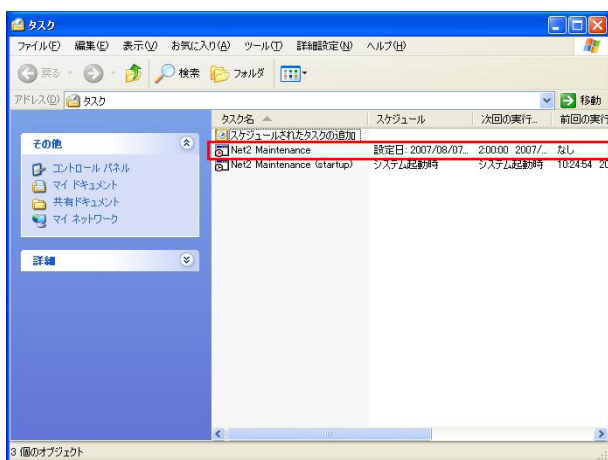
エクセル等の他のアプリケーションを開き、データを貼り付けて下さい。



必要に応じ、抽出したデータを保存して下さい。

## 18. Net2 Maintenance を使用してのバックアップ

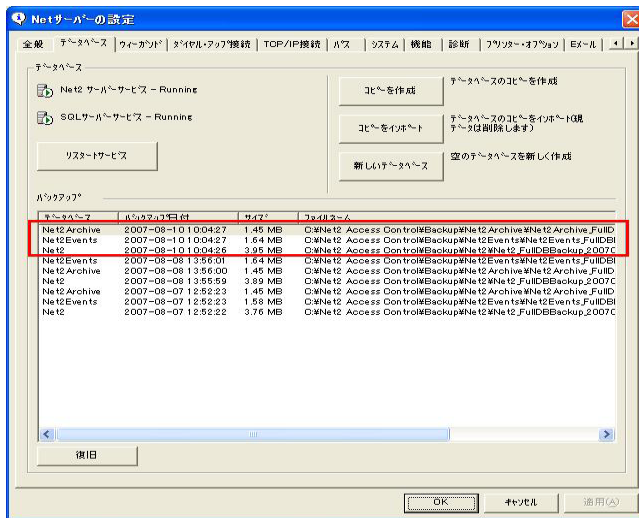
- 『スタートメニュー』-『アクセサリ』-『システムツール』-『タスク』を開く
- 『Net2 Maintenance』を開く



3、データのバックアップ時間を設定



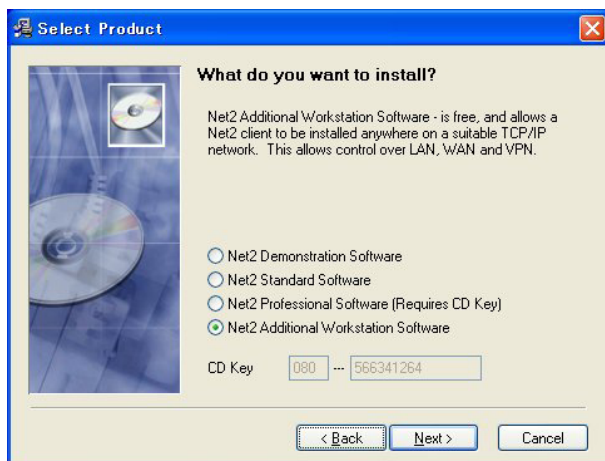
4、指定したバックアップが実行される



※ただし、ファイルの指定先の設定はできません。

## 19. クライアントパソコンからの管理

同時に5箇所のパソコンから管理・運用することが可能です。例えば受付ではビジター用のカードを発行し、総務では前日のレポートを作成し、システムエンジニアは入退室権限の設定変更等を行うといった運用が出来ます。



2、インストールが終了しましたら、Net2 を起動させて下さい。

右図のようなログイン画面が表示されます。管理する Net2 サーバーを選択しクリックして下さい。あとは通常の運用と同様です。

付属のインストール CD をパソコンにセットして下さい。インストーラーが自動で立ち上がりますので、『Net2 Additional Workstation Software』を選択して下さい。CD キーは必要ありません。



**注意：**WAN や L3 スイッチを超えて Net2 クライアントを使用する際、条件として、クライアントポート (6474.6475.6476.6477) +IP アドレス +PC 名 (名前解決) が必要になります。

## プロフェッショナル版の機能について

プロフェッショナル版では、以下の3つの機能を使用することが出来ます。

- ・非常時（火報時）一斉解錠機能：非常時にドアを全て解錠する機能です。
- ・避難確認：非常時にユーザーが避難したか確認できる機能です。
- ・アンチパスバック：カードの2重使用を防ぐ機能です。

Net2 スタンダードとプロフェッショナルの機能の違い

	Standard	Professional
500 ドア	○	○
10000 ユーザー	○	○
クライアント・ユーザー	○	○
複数通信ポートの活用	○	○
IP カメラ	○	○
侵入者アラーム	○	○
サイトグラフィック	○	○
トリガー&アクション	○	○
Milestone XProtect カメラ連動	○	○
ウィーガンド出力カスタム機能	○	○
非常時（火報時）一斉解錠機能	×	○
アンチパスバック	×	○
避難確認機能	×	○

プロフェッショナルの機能についての詳細は、別紙（プロフェッショナル用マニュアル）をご覧ください。

# Net2 テクニカルデータ

電気の仕様		
電源		DC11 ~ 14V 定格 DC12V
消費電流		350mA
リレー電流		5A
リレー電圧		DC50V
アラーム出力		1,000mA
設置場所		屋内専用
システム機能		
ユーザー登録	共有番号	50種類
	共有番号桁数	4 ~ 8桁
	個人番号桁数	4桁
	カード登録可能数	最大 10,000 件
	有効期限	年 / 月 / 日単位で可能
認証方法	カードのみ	可能
	カード+番号	可能
	番号のみ	可能
	カード+指紋認証	可能
	カード+顔認証	可能
リーダー取付可能数		最大 2 個 (インターフェース接続により最大 4 個)
対応リーダー	リーダー種類	非接触型カード (Hitag2, 125kHz, Mifare)
		磁気カード (ISO, JIS II )
		指紋認証
		顔認証
		テンキー
	Paxton 社製	P50, KP50, KP50 US, K50, Cardlock, EM50,
	GIGA 社製	GP60, GP90, MF700, MSR250, FL7, FL20 *5 *6
	bioscrypt 社製	V-Pass
TOSHIBA 社製	FacePass *7	
リーダー信号		ウィーガン26ビット *1 または クロック&データ
ドア解錠時間	解錠時間	1 ~ 5,000 秒 初期設定 7 秒
	連続解錠	可能
タイムゾーン設定可能数		最大 64 種類
休日の設定		最大 99 日
ユーザーアクセス権登録可能数		1 ~ 2,000 個
アクセスレベル設定可能数		最大 250 種類
オペレーター	登録数	無制限 (ユーザー登録数による) *2
	権限	操作レベルを 7 つに分けて管理 *9
ACU 履歴保存件数		約 2,300 件 (保存件数を超えた場合、古い順に削除)
データ保護内蔵電池		約 12 時間 *3
こじ開け機能		可能
閉め忘れ機能		可能
退室ボタン		可能
ドア開閉信号入力		可能
アラーム/ベル出力		可能
リレー出力数		2 個 (Relay1/Relay2)
PSU 入力		可能
タンパー入力		可能
履歴	リアルタイム表示	可能
	表示内容	日時/ユーザー名/ドア名/イベント内容を表示
	表示件数	100 ~ 全て *4
閲覧期間		全て *8
ドア状態表示		扉開閉/警備状態表示
グラフィック表示		JPG 形式、BMP 形式画像取込 / 表示可能
インポート		Unicode テキストファイル形式 (タブ区切り)
エクスポート		CSV ファイル形式
バックアップ	バックアップ時間設定	可能
	保存先指定	可能 (ファイル名半角英数字のみ)
	システムデータ	1 日 1 回保存
	イベントデータ	最大 4GB まで
	データベース	Microsoft SQL Server 2005 Express Edition
レポート出力		部・課 / ユーザー / 期間 / 月 / 日 で指定可能
配線		
リーダー延長ケーブル		Belden9540 相当品
ネットワーク	ケーブルタイプ	CAT5 または Belden8723 相当品
	延長	1,000m (リピーター使用で最大 3,000m まで延長可能)
	ACU-ACU 間	RS485
	ACU-PC 間	RS485-RS232C
	接続コントローラ数	500 台 (1 データラインにつき最大 200 台)
TCP/IP		可能 (最大 50 台)
寸法		
幅 (W)		102mm
高さ (H)		116mm
奥行き (D)		30mm

- \*1 オプションでウィーガンカスタム機能があるが、日本ではサポート対象外
- \*2 オペレーターはパスワードでの管理、パスワード使用文字は半角英数字のみ。
- \*3 電池は消耗品であるため、寿命に関しては保障対象外。また、24 時間充電後の時間とする。
- \*4 イベントの表示件数は PC のスペック、システムの規模、使用頻度により調整が必要です。
- \*5 MSR250 の接続には別途インターフェース基盤が必要です。
- \*6 FL20 は 2007 年 8 月現在開発中です。
- \*7 FacePass の接続には別途インターフェース基盤が必要です。
- \*8 システム運用時から、バックアップファイルを正常に保存している場合に限り。ハードディスクのクラッシュ等によるデータの消失は対象外です。また、ハードディスクのクラッシュ等によるデータの消失の責任は負いません。
- \*9 最大で 7 つまで分けられます。ご使用のバージョンや設定によって異なりますのでご注意ください。

## Net2 485 TCP/IP ethernet interface

ネットワーク情報	
RS485 ネットワークスピード	115.2kbps
イーサネット	10Mbps または 100Mbps *1
・ネットワークスピード	ネットワークタイプ UDS1100 使用による
イーサネット接続タイプ	10/100baseT
Ethernet bandwidth required	9 ~ 200kbps 定格 115kbps
DHCP サポート	有り
寸法	
幅 (W)	170mm
高さ (H)	175mm
奥行き (D)	40mm

\*1 設置環境により異なります。詳細はご相談下さい。

## Net2 スタンダード / プロフェッショナルソフトウェア

推奨最小スペック	
OS	Windows 2000 (SP4), XP (SP2), Server 2003(SP1), Windows Vista
CPU	Intel Pentium Core 2 Duo1.6GHz 相当
RAM	1GB
HDD 空容量	10GB
モニター解像度	256色 800 x 600
通信ポート /	有り
イーサネット環境	
CD-ROM ドライブ	インストール時に必要
管理者権限	インストール時に必要
ブラウザ	Internet Explorer 6 以上
インターネット接続環境	有り (推奨)

注意: PC スペックはあくまでも最小スペックです。上記スペックで全て動作するとは限りません。設置台数が増加するに従い、また、設置環境により異なります。詳細についてはご相談下さい。

## Net2 ソフトウェア機能

	スタンダード	プロフェッショナル	備考
500 ドア	○	○	(1 データラインあたり 200 台)
10,000 ユーザー	○	○	カード番号登録枚数
ワークステーション	○	○	クライアント *1
複数通信ポート	○	○	
LAN/WAN	○	○	
IP カメラ	○	○	
侵入アラーム	○	○	*2, 3
グラフィック表示	○	○	
トリガー & アクション	○	○	*5
Milestone 連動	○	○	
一斉解錠	×	○	
アンチパスバック	×	○	*4
火報アラーム	×	○	*2

\*1. ワークステーション (クライアント) は最大 5 台までです。

\*2. 火報アラームと侵入アラームは同時使用出来ません。

\*3. 侵入アラーム機能は外部機械警備と連動させる場合、機械警備機器から入出力信号をコントローラに接続する必要があります。機械警備用インターフェースを使用すれば、外部機械警備との信号のやり取りを行わなくても、機械警備と同じ機能を使用することが出来ます。

\*4. アンチパスバックは使用に制約があり、全てに対応できるとは限りません。

\*5. トリガー & アクションを使用するには、別途 Paxton I/O ボードが必要です。

注意: Net2 は英国からの輸入商品です。日本国内でサポートする項目のみ掲載しています。仕様は予告なく変更される場合があります。あらかじめご了承ください。

## 参考資料

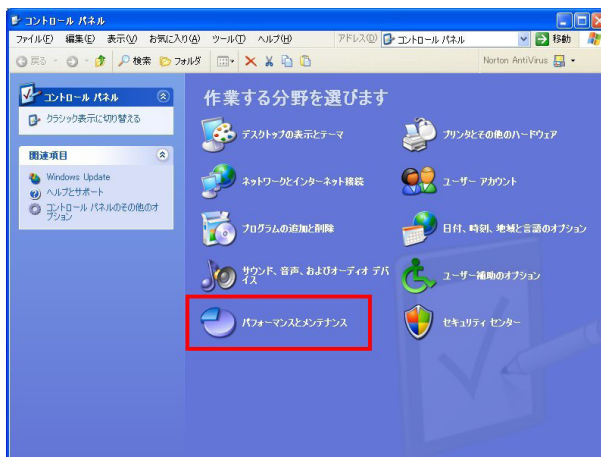
### Windows バックアップ機能を使用してのバックアップ設定

注意：下記のバックアップ方法は Windows XP Professional にのみ対応しております。Windows2000、2003Server、XP HomeEditio につきましては、別途 Microsoft 社のホームページ等で手順をご確認下さい。

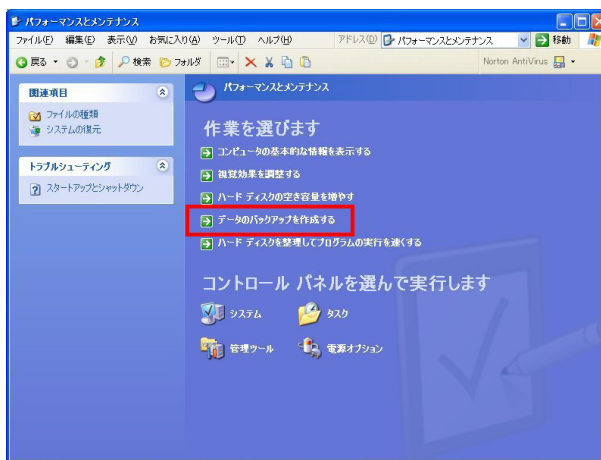
1、スタートボタンからコントロールパネルを開く



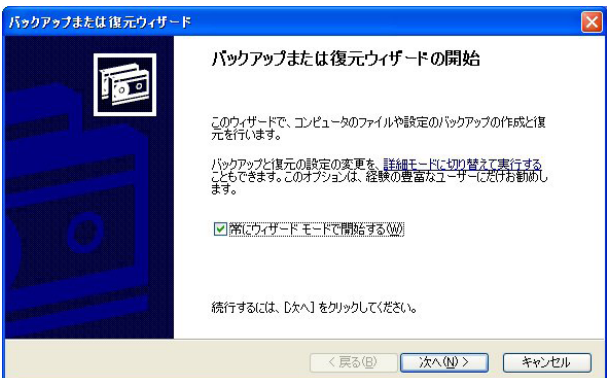
2、パフォーマンスとメンテナンスを開く



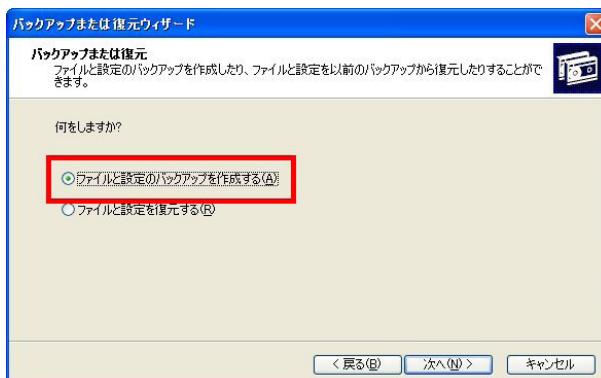
3、データのバックアップを作成するをクリック



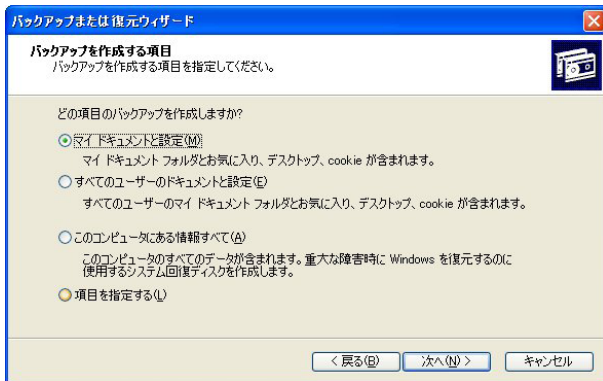
4、バックアップまたは復元ウィザードを開始する



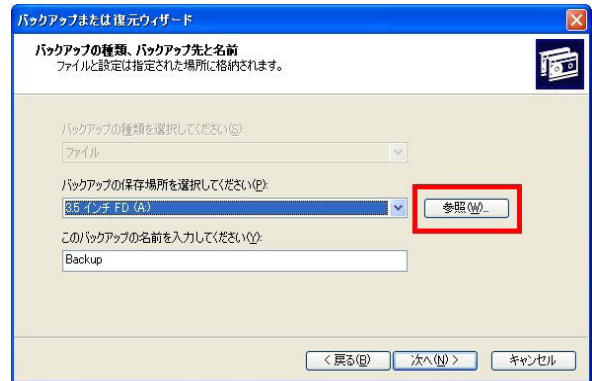
5、ファイルと設定のバックアップを作成するをクリック



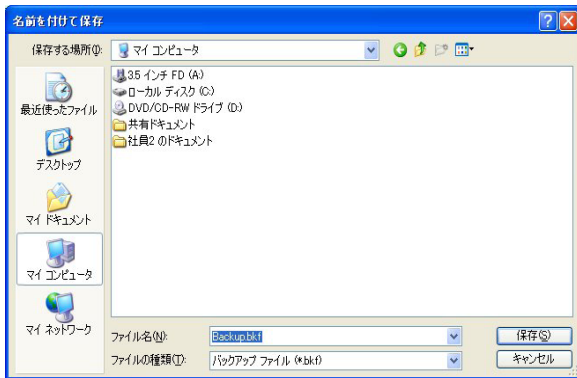
6、バックアップする項目を選択して下さい  
ここでは、例としてマイドキュメントと設定を選択します。



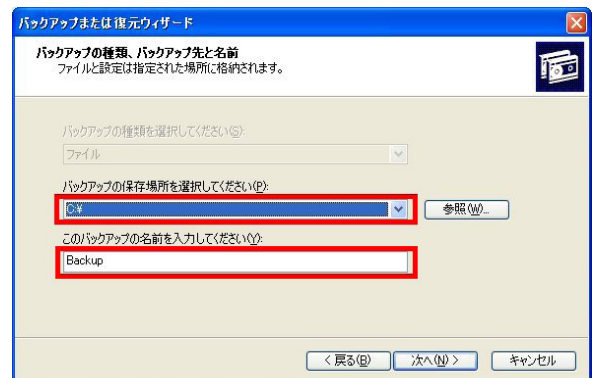
7、保存先の指定  
参照をクリックして下さい。



8、バックアップの保存先を指定して下さい  
バックアップファイルに名前を入力して下さい。



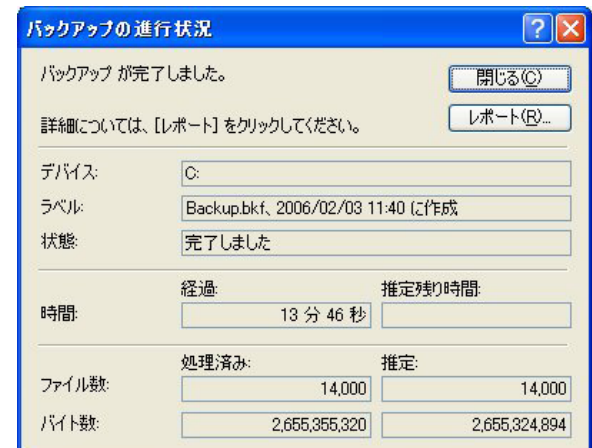
9、バックアップの保存先と名前を確認して下さい



10、バックアップ・ウィザードを完了する

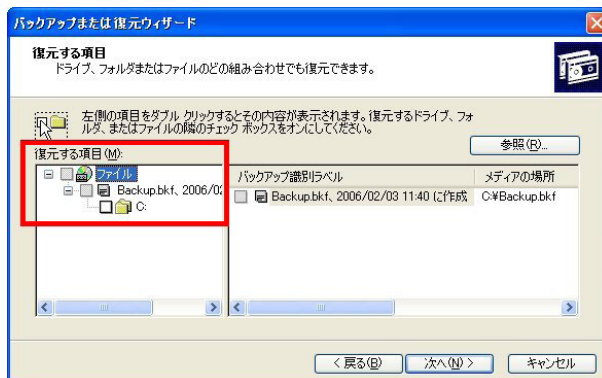
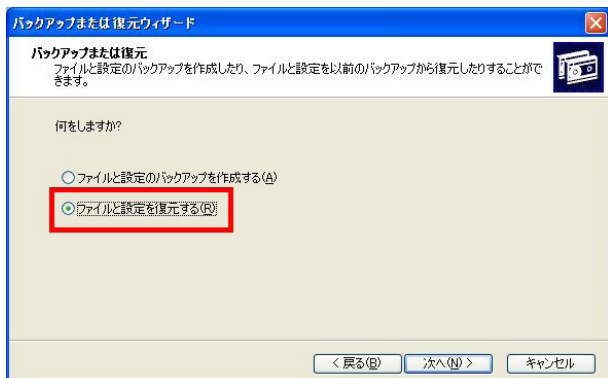


11、バックアップが始まります

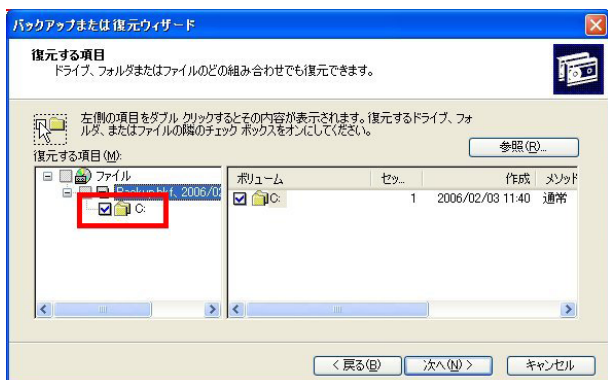


## バックアップからファイルやフォルダを復元する

- 1、バックアップまたは復元ウィザードを開始する  
ファイルと設定を復元するを選択して下さい。
- 2、復元する項目の表示



- 3、復元する項目の選択  
復元したい項目にチェックマークを入れて下さい。
- 4、バックアップまたは復元ウィザードを完了する



- 5、進行状況が表示されます

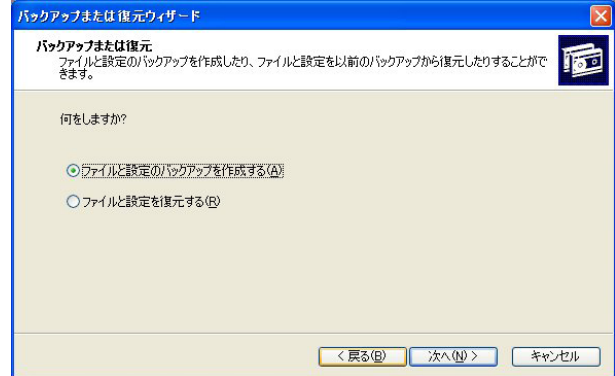
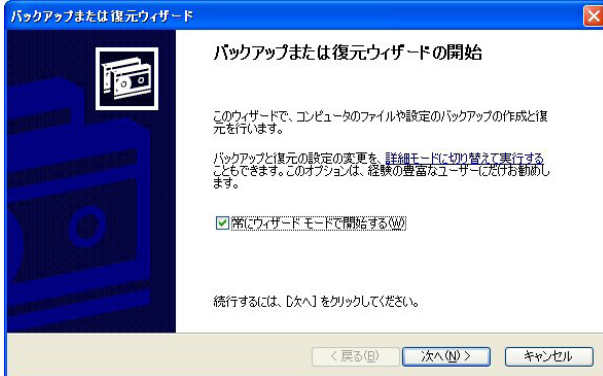


復元が完了したら、ウィンドウを閉じて下さい。

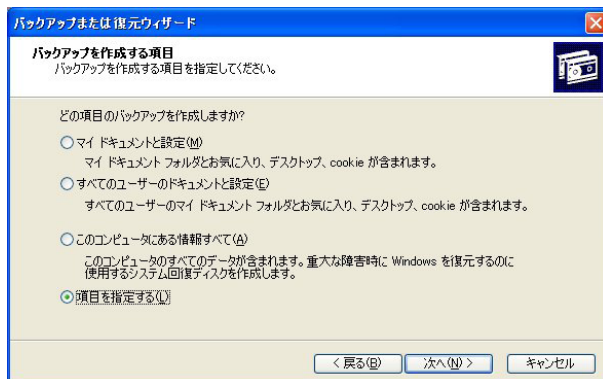
**注意:** バックアップ・復元に関して記述は、あくまでも参考のために提供する情報であり、この情報をもとに使用・結果については状況のいかにかわらず、いかなる保証もありません。使用者の責任の範囲内で行っ

## タスクスケジューラーを使用してのバックアップ設定

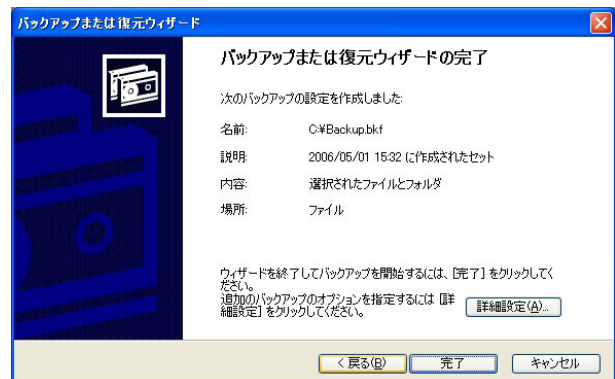
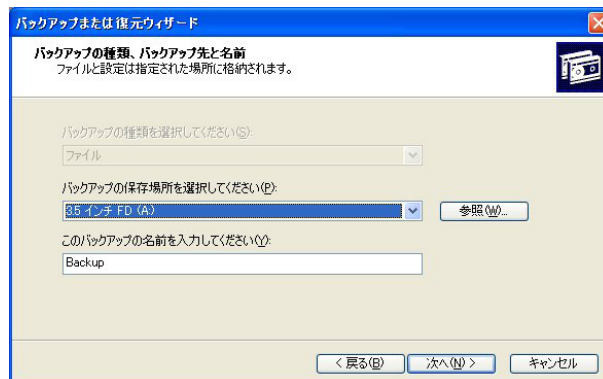
1. 管理者としてログオンします。
2. 『スタート』 - 『すべてのプログラム』 - 『アクセサリ』 - 『システムツール』 - 『バックアップ』の順に開きます。
3. ウィザードが開始されますので、指示に従い選択して下さい。



4. 『次へ』をクリックして下さい。
5. 『ファイルと設定のバックアップを作成する』を選択し、『次へ』をクリックして下さい。
6. 『項目を指定する』を選択し、『次へ』をクリックして下さい。

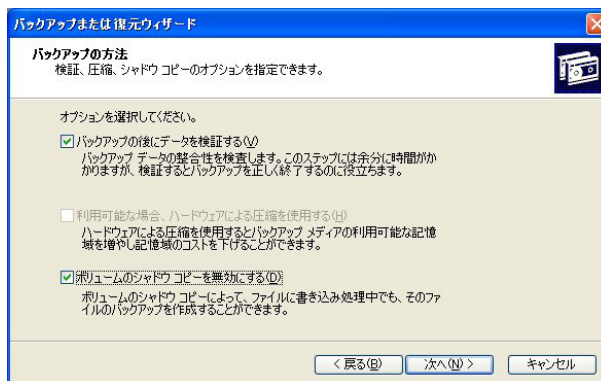
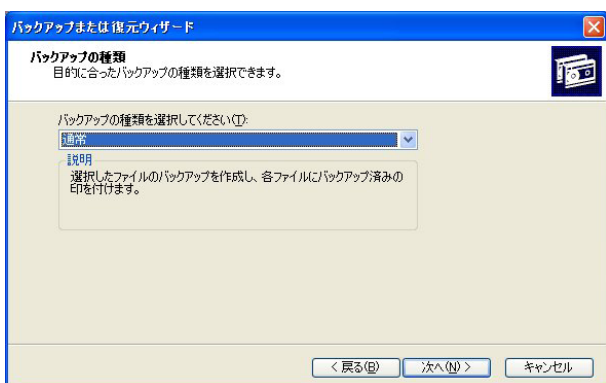


7. バックアップするファイルまたはフォルダを指定します。Net2 フォルダをバックアップするには、C ドライブ直下の「Net2 Access Control」フォルダを指定して下さい。選択しましたら、『次へ』をクリックして下さい。
8. バックアップファイルの保存先と名前を入力して下さい。入力しましたら、『次へ』をクリックして下さい。



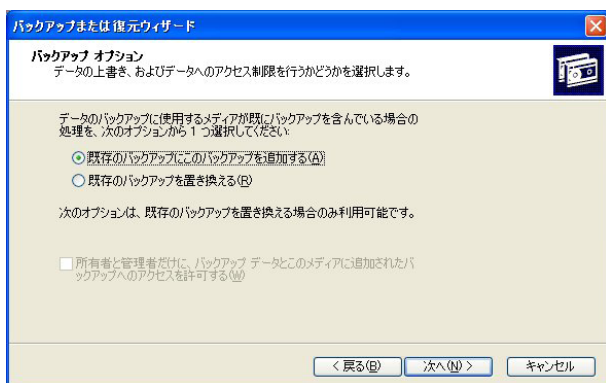
9. 完了の画面が表示されますが、バックアップを行う時間の指定をします。『詳細設定』をクリックして下さい。

10. バックアップの種類を選択して下さい。選択しましたら、『次へ』をクリックして下さい。



11. バックアップの方法を選択して下さい。選択しましたら、『次へ』をクリックして下さい。

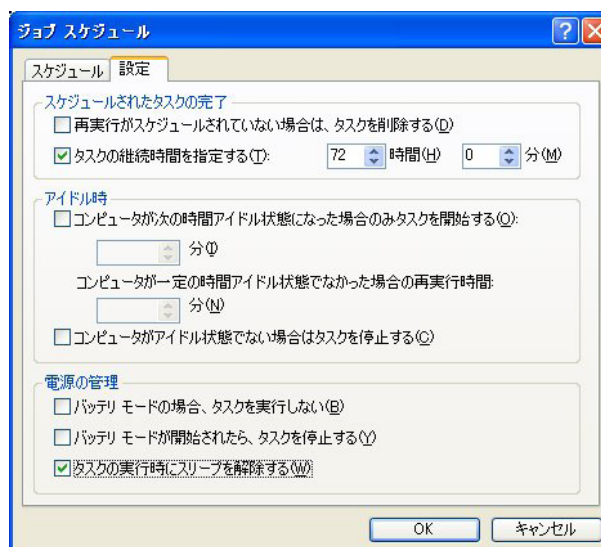
12. バックアップのオプションを選択して下さい。選択しましたら、『次へ』をクリックして下さい。



13. バックアップを作成する時刻を設定します。『後で実行』を選択して下さい。『ジョブ名』を入力し、『スケジュールの設定』をクリックして下さい。

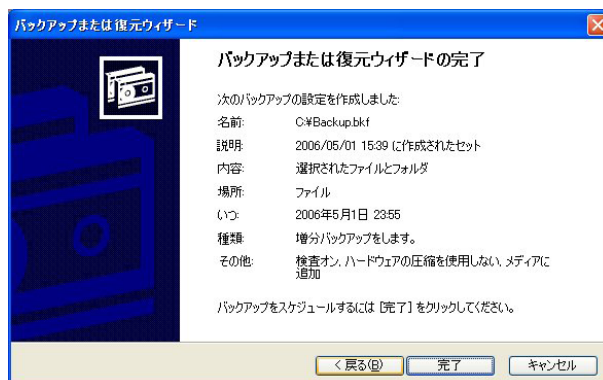
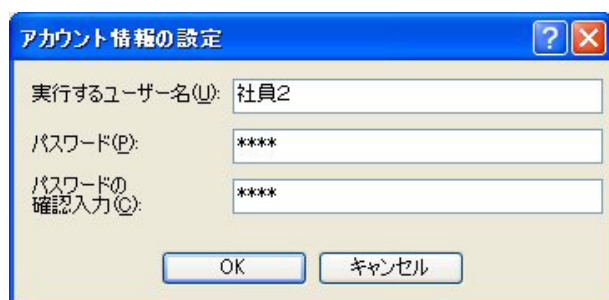
14. スケジュールの設定を行います。

例えば、毎日 23 : 55 にバックアップを行いたい場合、『タスクのスケジュール』を日単位、『開始時刻』を 23 : 55、『間隔』を 1 日に 1 回に設定します。



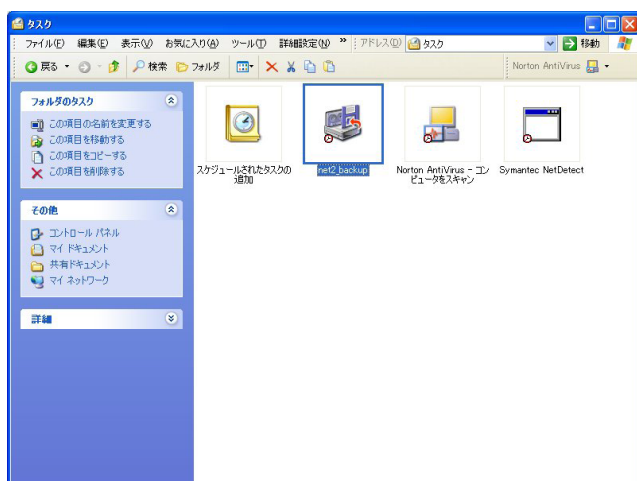
15. 『設定』タブを選択すると、『スケジュールされたタスクの完了』『アイドル時』『電源の管理』の設定を行うことができます。設定が終了しましたら、『OK』をクリックして下さい。

16. アカウント情報を入力して下さい。「ユーザー名」と「パスワード」が必要です。入力しましたら、『OK』をクリックして下さい。



17. ウィザードの完了画面に戻ります。『完了』をクリックして作業を終了させて下さい。

18. 正常にタスクスケジューラを作成出来たか確認して下さい。『スタート』-『コントロールパネル』-『タスク』の順に開き、先ほど作成したタスクが表示されるか確認して下さい。



19. 以上で設定は終了です。実際に運用し、タスクが正常に作動すること、バックアップが取れていることを確認して下さい。また、定期的に設定を確認し、タスクが正常に機能していることを確認して下さい。

**注意：**参考資料としてご紹介したバックアップ方法は Microsoft 社の提供する情報を元に作成しております。バックアップ方法は Windows XP Professional にのみ対応しております。Windows2000、2003Server、XP HomeEditio につきましては、別途 Microsoft 社のホームページ等で手順をご確認下さい。また、これらの記述は記述は、あくまでも参考のために提供する情報であり、この情報をもとに使用・使用結果については状況のいかんにかかわらず、いかなる保証もありません。使用者の責任の範囲内で行って下さい。

バックアップ・ユーティリティの詳細な使用方法については、各 OS の Microsoft サポートページをご覧ください。  
Windows XP : <http://support.microsoft.com/?scid=kb;ja;882790&spid=3223&sid=1212>

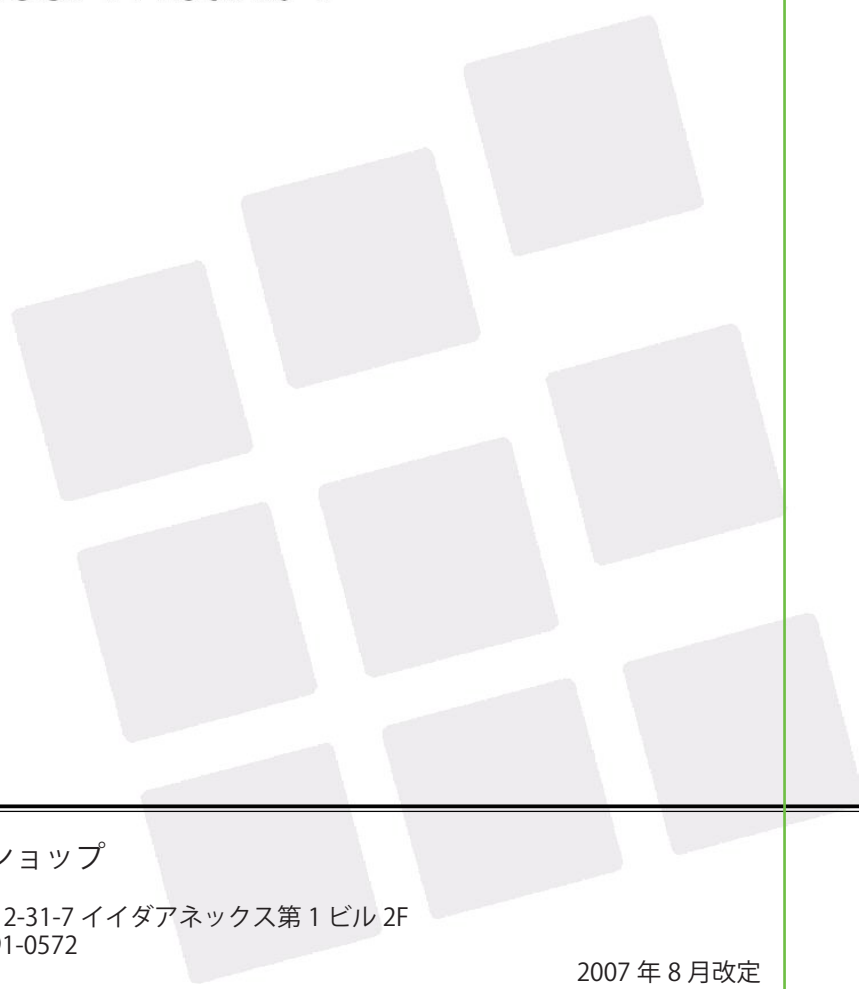
**注意：**バックアップを手動で行う場合、必ずサーバーを停止してから行って下さい。また、サーバーのデータベースを参照する場合も同じくサーバーを閉じてから参照して下さい。サーバーを開いた状態で作業を行うと、作業ミスや他の何らかの原因でデータベースが破壊される危険性があります。万一の操作ミスによるデータベース破損を防止することが出来ます。

Microsoft 社の提供する情報をもとに、後述参考資料として掲載しております。

ME



Patxon Access



輸入元： 株式会社ケーティーワークショップ  
発行元：

〒158-0097 東京都世田谷区用賀 2-31-7 イイダアネックス第1ビル 2F  
TEL : 03-5491-5720 FAX : 03-5491-0572  
<http://www.kt-workshop.co.jp>

2007年8月改定